

いしかわの自然と環境

エコナビ

2020
vol.19

Eco Navigation

特集

みんなでつくるいしかわの環境



能登の里海から⑤ 海が育んだサステナビリティ

地域資源の特色を活かした元気な里山里海づくり～取り組み事例の紹介～

いしかわ生きもの図鑑 19 石川県に飛来するコウノトリ

エコナビ 19号 ■特集 みんなでつくるいしかわの環境

(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議

いしかわの自然と環境

エコナビ

Eco Navigation

第19号 2020年3月31日発行



企画・発行

公益社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地

いしかわエコハウス内 県民エコステーション

TEL.076-266-0881 FAX.076-266-0882

URL : <https://www.eco-partner.net/>

e-mail : info@eco-partner.net

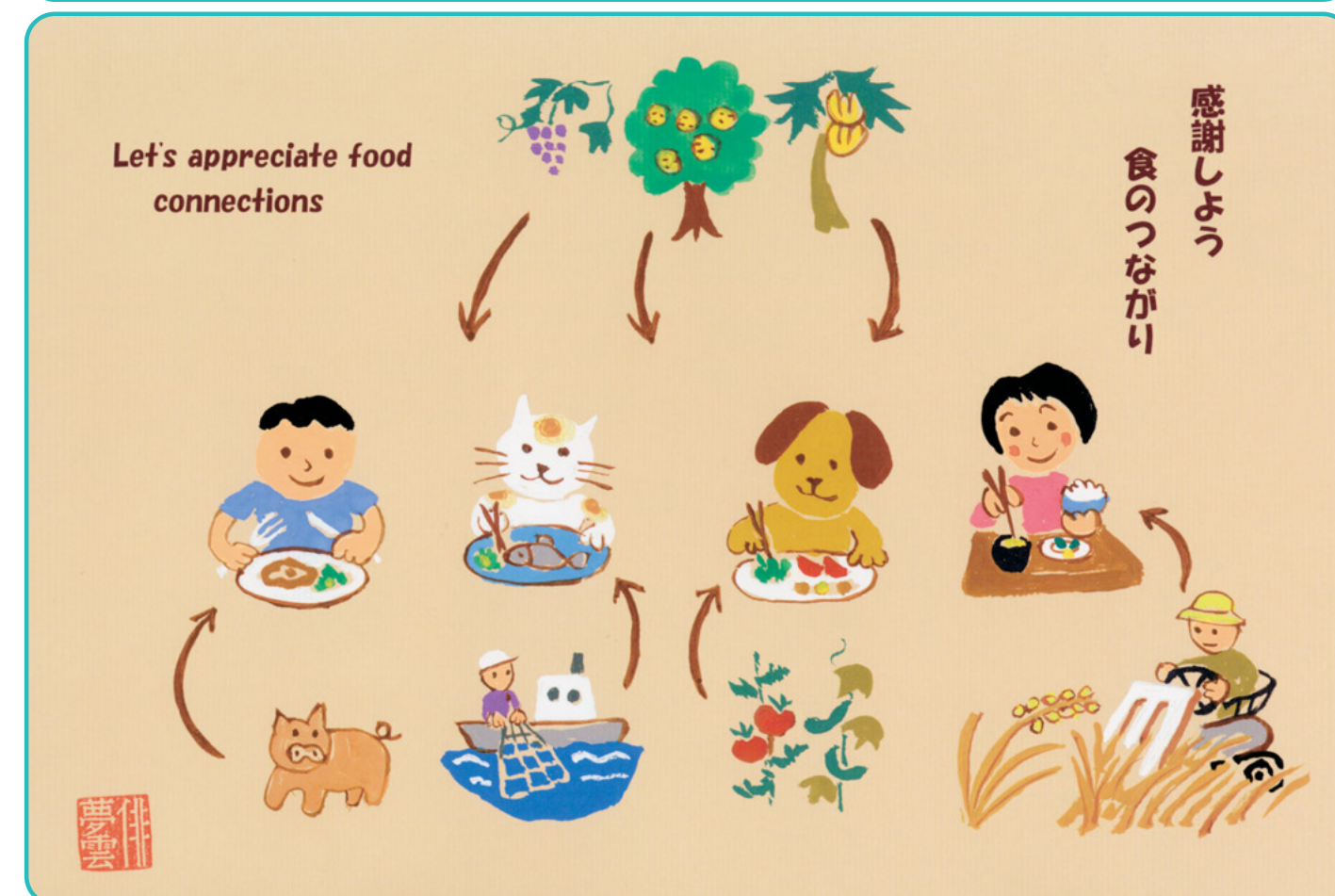


植物油インキを使用し、「水なし印刷」を採用した環境にやさしい印刷物です。

CONTENTS

- 2.....**いしかわ生きもの図鑑⑱ 石川県に飛来するコウノトリ**
石川県生活環境部自然環境課
- 4.....**特別連載 SDGs(持続可能な開発目標)を考える**
～石川県における SDGs の取り組み～
中里 茂 [環境カウンセラー]
- 6.....**特集 みんなでつくるいしかわの環境**
◆いしかわの環境への取り組み
新 広昭 [金沢星稜大学経済学部教授]
- ◆石川県の地球温暖化対策～新たな温室効果ガス排出量削減目標～
石川県生活環境部温暖化・里山対策室
・いしかわ事業者版環境 ISO 優良活動表彰
・「いしかわ ECO アプリ」の開発
- ◆石川県における食品ロス削減の取り組み～県・事業者・家庭ができること～
エコナビ編集部
・美味しいいしかわ食べきり協力店の事例紹介～ウーフドーナチュの取り組みから～
- ◆学校教育を通じた海洋環境問題への取り組み～能登里海教育研究所の事例から～
エコナビ編集部
- ◆石川県におけるライチョウの種の保存への取り組み
石川県生活環境部自然環境課
- ◆いしかわ版里山づくり ISO・いしかわ里山ポイントの紹介
石川県生活環境部温暖化・里山対策室
- ◆農村集落と都市住民の協働活動による元気な里山里海づくり
「いしかわ農村ボランティア」～活動のご紹介～
石川県農林水産部里山振興室
- 24.....**クローズアップいしかわ自然学校**
ふりかえることができる原風景を子どもたちに
髙原 千裕 [はぐくみ]
- 26.....**広げよう！ エコ活動の環!!**
世界の課題解決へ向けて。廃瓦のリサイクルと車載式生コンプラントで SDGs 推進！
高田 実 [株式会社エコシステム]
- 28.....**我がまち ECO レポート Vol.18**
環境への理解を深め、自ら行動していく
岩住 均 [能登町住民課]
- 30.....**能登の里海から⑤**
海が育んだサステイナビリティ
福嶋 葉子 [能登島地域づくり協議会]
- 33.....**地域資源の特色を活かした元気な里山里海づくり～取り組み事例の紹介～**
石川県農林水産部里山振興室
- 36.....**いしかわエコデザイン賞2019**
石川県生活環境部温暖化・里山対策室
- 38.....**ドイツ・フライブルク環境研修レポート**

～ 循環の中で生きる ～



2020年「環境カレンダー」(日本環境保護国際交流会発行)より転載しました。

いしかわ生きもの図鑑⑱ 石川県に飛来する コウノトリ

文・写真 © 石川県生活環境部自然環境課



コウノトリはサギ類のように首を曲げずに真っすぐに伸ばして飛びます。

一度は絶滅した コウノトリ

令和元年（2019）も加賀市から珠洲市まで県内各地でコウノトリが目撃されました。実物を見た方もいれば、写真付きで新聞に掲載されていたものを見て知っている方もいるかもしれません。日本のコウノトリは昭和46年（1971）に絶滅してしまいました。ロシアから譲渡された個体が兵庫県で飼育繁殖され、平成17年（2005）に兵庫県で初めてコウノトリの放鳥が行われました。その後、兵庫県のほか千葉県や福井県からの放鳥や自然繁殖などにより増加し、国内において野生のコウノトリは、現在、178羽の生息が確認されています（令和元年（2019）12月6日現在）。



バッタを次々に捕まえて食べながら歩いているうちに近くにやってきました。よく見ると、この写真ではくちばしの先で2匹のバッタを捕まえています。

コウノトリの基本情報

コウノトリは立った状態で100〜110cm、翼を広げた大きさは約200cm、体重が4〜5kgととても大きく、サギ科やツル科ではなくコウノトリ科というグループに属する鳥です。湿地や水田、畑などでドジョウやカエル、ヘビ、バッタなど、さまざまな生きものを餌としています。2月中旬ごろから巣を作り始め、産卵します。4月下旬から5月上旬にふ化したヒナは、7月上旬ごろまでに巣立ちを迎えます。本来はマツの大木などに営巣しますが、電柱などの人工物に営巣することもあります。

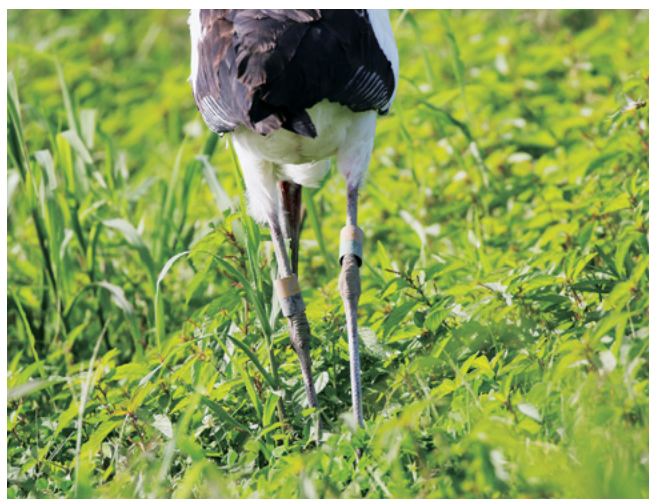
コウノトリを見かけたら

とても大きい白と黒の体、長く黒いくちばし、眼のまわりが赤いといった特徴から、普段鳥を気にしない方にもコウノトリは分かりやすい種かと思えます。発見したらつい近づいて見たくなくなってしまいかもしませんが、コウノトリを刺激しない距離（150m以上が目安）で観察しましょう。また、コウノトリに夢中になって無断で農地に入ることや、通行の妨げになることがないようにしましょう。

双眼鏡で観察したときやカメラで

コウノトリを保護する 2つの法律

コウノトリは「文化財保護法」により特別天然記念物に、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により国内希少野生動植物種に指定され保護されています。その中では、捕獲等（捕獲、殺傷、損傷）のほかに、生死を問わず個体器官（羽根）などの譲り渡しが禁止されています。落ちていた羽根を拾うことは問題ありませんが、それを誰かに譲り渡すことは規制の対象となるので注意が必要です。



足環（左：黄・黒、右：黄・緑）がついているので調べてみると、J0230（2019年3月30日豊岡市生まれのメス）と分かります。



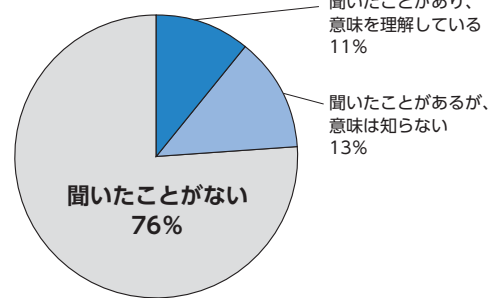
遠くからでも分かる威風堂々とした立ち姿。

令和元年（2019）には福井県坂井市で自然繁殖し、4羽のヒナが巣立ちました。今後、石川県においてもコウノトリが繁殖する可能性が十分にあります。巣作りや子育ては大事な時期ですので、見つけたら適切な距離をとって温かく見守っていきましょう。

※本文中の写真はいずれも通行の妨げとならないよう注意を払って停車した車内から、コウノトリを刺激しないよう撮影しています。

問い合わせ先
石川県生活環境部自然環境課
電話／076-1225-1476

Q. SDGsを知っていますか？
(N=360, 単一回答)



石川県 SDGs に関する意識調査

に対する社会的認知度は高まってきてはいるものの、まだまだ理解されていないのが実情です。

2019年5月にテレビ金沢が行った石川県SDGsに関する意識調査では「SDGsを聞いたことがない」と答えた人は76%という結果がでています。

しかし、今自治体や企業、学校などさまざまなセクションにおいて、SDGsの目指す社会や人口の減少、過疎化、地域経済の縮小といった地域の課題をSDGsの取り組みを通して解決し、持続可能な地域社会を作っていく動きが出ています。

SDGsとは

最近テレビや会合などで、SDGsのバッジを付けている人をよく見かけるようになりました。



SDGs バッジ

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、通称エス・ディ・ジーズと呼ばれています。

特別連載

SDGs(持続可能な開発目標)を考える 石川県におけるSDGsの取り組み

今、世界では環境問題をはじめ貧困や飢餓、格差など様々な問題が起きています。こうした地球規模の問題を解決し、国際社会のあるべき姿を実現するために2015年9月の国連サミットで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ(行動計画)」が採択されました。そこで示されたのがSDGsで、国連に加盟する193すべての国・地域が2030年までに達成すべき世界共通の目標としての17のゴール(目標)と、それを達成するための具体的な169のターゲット(行動目標)が示されています(下記参照)。

石川県の認知度はまだ低い

SDGsが国連で採択されて早5年になろうとしています。SDGs

石川県におけるSDGsの取り組み

《自治体の取り組み》

人口減少や過疎化、地域産業の縮小など地域社会が抱える課題をSDGsを活用して解決し地方創生を進めるため、石川県内でも珠洲市や白山市、小松市が内閣府の「SDGs未来都市」に選定され、SDGsを推進しています。また、金沢市でも独自に「金沢SDGs」を策定し、実現に向けた取り組みを進めています。

SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業とは

内閣府では2010年度から進めている「環境未来都市」構想をさらに発展させ、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取り組みを提案する都市を「SDGs未来都市」として選定し、その中でも特に先進的な取り組みを「自治体SDGsモデル事業」として選定しています。これらの取り組みを支援するとともに、成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていくことを目的とする事業です。

SDGs17の目標と個別のターゲット(行動目標)

- | | | |
|--|---|---|
| <p>1 貧困をなくそう
あらゆる形態の貧困に終止符を打つ</p> <p>2 飢餓をゼロに
飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する</p> <p>3 すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する</p> <p>4 質の高い教育をみんなに
すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p> <p>5 ジェンダー平等を實現しよう
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る</p> <p>6 安全な水とトイレを世界中に
すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する</p> <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p> | <p>8 働きがいも経済成長も
すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する</p> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう
レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る</p> <p>10 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の不平等を是正する</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを
都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする</p> <p>12 つくる責任つかう責任
持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る</p> <p>14 海の豊かさを守ろう
海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する</p> | <p>15 陸の豊かさを守ろう
陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土壌劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る</p> <p>16 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p> <p>17 パートナリーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p> <p>13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
13.1- すべての国々において、気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンスおよび適応力を強化する。
13.2- 気候変動対策を国別の政策、戦略および計画に盛り込む。
13.3- 気候変動の緩和、適応、影響軽減、および早期警告に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を改善する。
13.a- … (後略)</p> |
|--|---|---|

17の目標それぞれにターゲット(行動目標)が設定されている



カンボジアの子どもたちに本や教材を支援(コマニー株式会社)

また、石川県に本店を置く金融機関の中でも、のど共栄信用金庫や北陸・鶴来信用金庫がSDGs宣言を行い、地域課題の解決、地域活性化のためSDGsを推進しています。

特に金融機関においては、本業である金融機能・サービスをを通して地域及び地域経済の発展に貢献すると

《企業の取り組み》

SDGsに取り組むことは企業の社会的責任(CSR)として、またビジネスチャンスや企業イメージの向上なども期待されることから、SDGsに取り組む企業が増えてきています。

県内企業でもコマニーや会宝産業、明和工業、数馬酒造をはじめ、様々な企業で取り組みが進められています。



石動山での森林整備活動(のど共栄信用金庫)

いう使命を担っていることから、地域の抱える課題を事業を通して解決し持続可能な社会の発展のため、果たす役割は大きいといえます。

《教育機関の取り組み》

教育機関では、小中学校が新学習指導要領で持続可能な社会や世界の創り手となるための教育の中でSDGsが盛り込まれることになっています。また金沢大学や金沢工業大学、金沢星稜大学でもSDGsの取り組みが進められており、今後教育機関でも一層の取り組みが進められるといえます。

文◎環境カウンセラー 中里 茂

特集

みんなでつくる
いしかわの環境

いしかわの環境への取り組み

文◎金沢星稜大学経済学部教授 新 広昭

持続可能な社会と
SDGs

今、わたしたちが生きている現代社会は、世界的にも国内的にも、地球温暖化や生物多様性の損失（環境の課題）、紛争や人権侵害（社会の課題）、貧困や経済的格差（経済の課題）などさまざまな課題が溢れています。こういった課題はそれぞれ独立したものではありません。相互に関係し、多くの場合、ある課題を解決しようとするにより別の課題の深刻化を招くといったトレードオフ（あち

らを立てればこちらが立たず）が存在しますが、それを乗り越え、持続可能な社会を実現していかなければ人類の未来はありません。

そこで、2015年9月の国連総会では、「持続可能な開発目標（SDGs）」が国際連合参加国・地域の全会一致で採択されました。SDGsは、2016年から2030年までの間に発展途上国から先進国まですべての国が目指す世界共通の目標で、環境・社会・経済の3つの側面のバランスが取れた持続可能な世界を実現するための17のゴール（目標）とそれぞれのゴールの下にある、

より具体的な169項目のターゲット（達成基準）で構成されています。



SDGsの17の目標のロゴマーク
（出典）国際連合広報センター

SDGsと環境政策

SDGsはすべての主体が関わる普遍的な目標であることから、日本でも2016年5月、SDGsを総合的かつ効果的に推進するため、内閣総理大臣を本部長とする『持続可能な開発目標（SDGs）推進本部』が設置され、同年12月に『SDGs実施指針』が策定されました。指針では、環境に関する「省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会」、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」の2項目を含む経済、社会、環

境に関する8項目の優先課題（政策）が示されています。

これらの課題はそれぞれが互いにかかり合いをもっていて、環境の課題だけを解決しようとしてもそこには必ずトレードオフの問題が起るので、全体を最適化していく総合的な取り組みが必要です。

みんなでつくる
いしかわの環境

石川県では、こういった総合的な環境政策を進めるため、全国に先駆け2004年に「ふるさと いしかわの環境を守り育てる条例」という総合的な環境条例を

策定し、その翌年、条例の理念を実現するための具体的な取り組みを体系的

的に盛り込んだ「石川県環境総合計画」を策定しました。この条例と計画は狭い意味の環境分野だけでなく、産業振興や健康といった分野を包含し、県民、事業者、行政がパートナーシップによりいしかわの環境を守り育てていく仕組みも盛り込んでいることから、SDGsを進めていくための羅針盤ともいえるでしょう。

待ったなしとなっています。2020年の県の環境総合計画の見直しにおいても、これら多様化する環境課題をみんなの力で解決し、地方創生や産業振興にも結び付けていくことが必要となります。

持続可能な開発目標 (SDGs) 実施指針の概要			
●ビジョン：「持続可能で強靱、そして誰一人取り残さない、経済、社会、環境の統合的向上が実現された未来への先駆者を目指す。」 ●実施原則：①普遍性、②包摂性、③参画型、④統合性、⑤透明性と説明責任 ●フォローアップ：2019年までを目処に最初のフォローアップを実施。 【8つの優先課題と具体的施策】			
①あらゆる人々の活躍の推進		②健康・長寿の達成	
■一億総活躍社会の実現 ■女性活躍の推進 ■子供の貧困対策 ■障害者の自立と社会参加支援 ■教育の充実		■薬剤耐性対策 ■途上国の感染症対策や保健システム強化、公衆衛生危機への対応 ■アジアの高齢化への対応	
③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション		④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	
■有望市場の創出 ■農山漁村の振興 ■生産性向上 ■科学技術イノベーション ■持続可能な都市		■国土強靱化の推進・防災 ■水資源開発・水循環の取組 ■質の高いインフラ投資の推進	
⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会		⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	
■省・再生可能エネルギーの導入・国際展開の推進 ■気候変動対策 ■循環型社会の構築		■環境汚染への対応 ■生物多様性の保全 ■持続可能な森林・海洋・陸上資源	
⑦平和と安全・安心社会の実現		⑧SDGs実施推進の体制と手段	
■組織犯罪・人身取引・児童虐待等の対策推進 ■平和構築・復興支援 ■法の支配の促進		■マルチステークホルダーパートナーシップ ■国際協力におけるSDGsの主流化 ■途上国のSDGs実施体制支援	

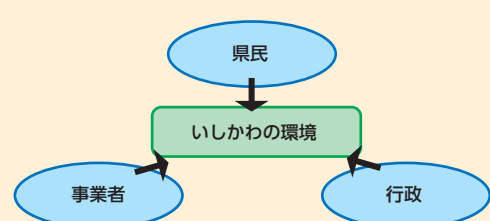
2016年に策定されたSDGs 実施指針の概要

「ふるさと いしかわの環境を守り育てる条例（2004年制定）」をもとに

2005年 石川県環境総合計画を策定

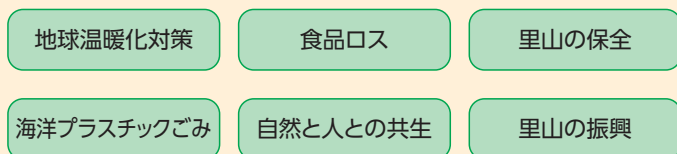
- ・生活環境の保全
- ・循環型社会の形成
- ・自然と人との共生
- ・地球環境の保全
- ・質の高い環境の形成に資する産業活動の推進
- ・環境に関する知識、知恵、情報等の集積と活用

狭い意味の環境だけでなく、産業振興や健康等の分野を含む点が当時としては画期的だった



県内のステークホルダーが連動する点がSDGsと共通

2020年 環境総合計画を見直し



など、現在待ったなしに迫っている環境課題を県内各主体が協働して解決

地方創生 産業振興

石川県の総合的な環境政策の流れ

石川県の地球温暖化対策の現状

温室効果ガスの排出状況

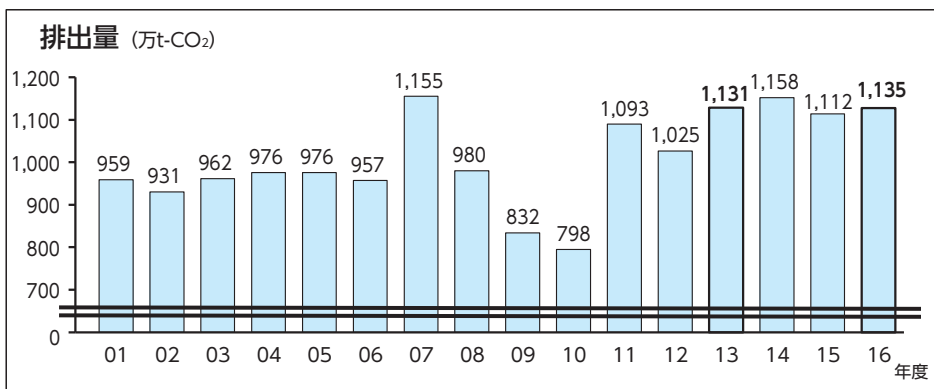
近年、地球温暖化に伴う気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生しています。地球温暖化は、平均的な気温の上昇のみならず、異常高温や大雨・干ばつの増加などの様々な気候の変化を伴うため、世界全体で地球温暖化対策を進めることは喫緊の課題となっています。

国内の排出状況は8・4%減

国内の温室効果ガス総排出量は、12億9,200万t（2017年度）であり、国の地球温暖化対策計画の基準年である2013年度比で、

石川県の地球温暖化対策 新たな温室効果ガス排出量削減目標

文◎石川県生活環境部温暖化・里山対策室



石川県の温室効果ガス排出量の推移

8・4%の減少となっています。

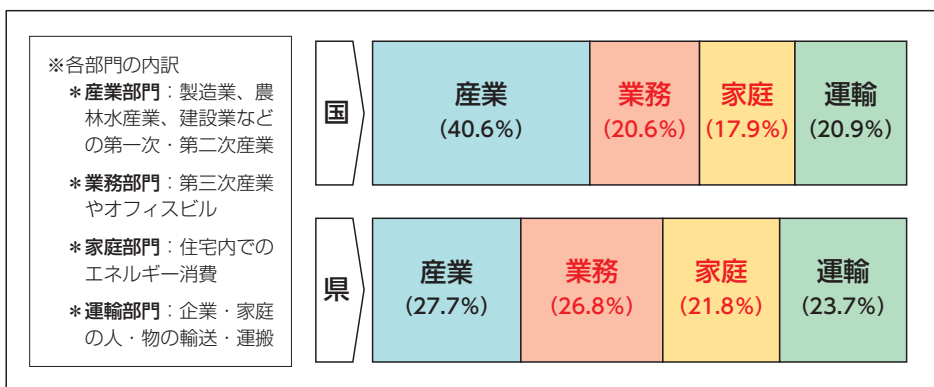
石川県の排出状況はほぼ横ばい

石川県の温室効果ガス総排出量は、1,135万t（2016年度）であり、2013年度比ではほぼ横ばい（0・3%増）となっています。

石川県の特性（部門別の割合）

石川県は、国全体と比較して、産業部門の排出割合が低く、家庭部門・業務部門の排出割合が高いという特徴があります。

近年は、ものづくり中小企業の好調な業績や北陸新幹線開業による宿泊者の増加を背景に、以前と比べて産業部門や業務部門の温室効果ガスの排出量が増加しています。



部門別二酸化炭素排出割合（2016年度）

石川県の新たな目標

目指すべき環境の姿

県民、事業者、行政等のあらゆる主体が、地球温暖化の防止に向けた具体的な行動に取り組み、石川県の温室効果ガス排出削減目標を達成していること。

その上で、石川県の温室効果ガス排出削減目標は、**2030年度に2013年度比30%削減**を目指します。

削減目標設定の考え方

2015年7月、国は、パリ協定に先立ち、2030年度に2013年度比で26%減とする温室効果ガス排出削減目標（日本の約束草案）を国連気候変動枠組条約事務局に提出しました。また、2016年5月、この目標を中期目標とする「地球温暖化対策計画」を策定し、達成に向けて各種施策を推進しています。

この目標は、パリ協定のもと、世界全体での温室効果ガス排出削減に、我が国が貢献していくものです。石川県としても、産業や家庭などの各

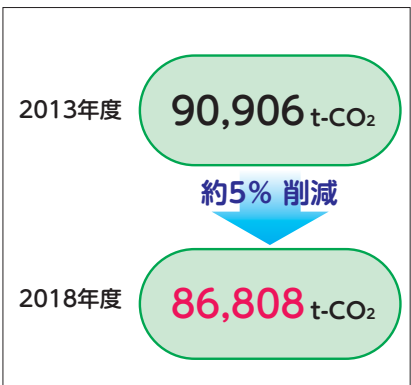
区分	2013年度実績値 A	2030年度目標値 A×(1+B)	2013年度比 B	地球温暖化対策計画における国の削減目標
産業部門	238	221	▲7%	▲7%
業務部門	268	161	▲40%	▲40%
家庭部門	253	152	▲40%	▲40%
運輸部門	245	176	▲28%	▲28%
その他				
発電所等	46	33	▲28%	▲28%
廃棄物焼却等	19	18	▲7%	▲7%
メタン・フロン類等	62	52	▲16%	▲16%
小計	1,131	813	▲28%	▲23%
森林吸収源	—	▲16		
合計	1,131	797	▲30%	▲26%

部門別の温室効果ガス排出量の削減目標（単位：万t-CO₂）

部門（各主体）が、国の目標達成に貢献していくことを目指し、国の部門別の削減目標（削減割合）を石川県に当てはめて、30%という削減目標を設定しました。

県庁における温室効果ガスの排出抑制

石川県では、地球温暖化対策の推進に関する法律の規定に基づき、県庁が率先して取り組みを進めるための「県庁グリーン化率先行動プラン」を策定し、施策を講じてきました。



県施設における温室効果ガス排出量の推移

今後、県庁全体（出先機関や指定管理者制度導入施設を含む）の温室効果ガス排出量の削減目標は、**2030年度に2013年度比40%削減**を目指します。

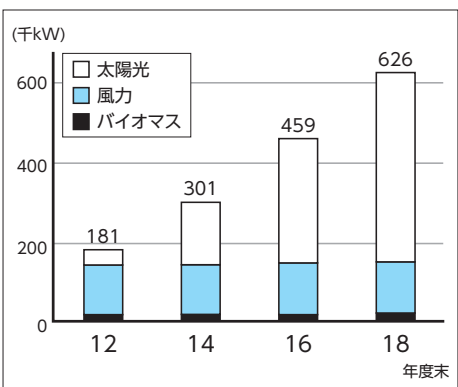
削減目標設定の考え方

国の「政府実行計画」では、庁舎や公用車の使用等に伴う温室効果ガスの2030年度の排出量を2013年度比40%削減することを目標としています。

これらを踏まえ、県庁でも温室効果ガスの排出量を2030年度に2013年度比40%削減するという目標を設定しました。

石川県の再生可能エネルギー導入状況

温室効果ガスをほとんど排出しない再生可能エネルギーに関しては、2011年3月の東日本大震災以降、エネルギーをめぐる環境が大きく変化する中で全国的に関心が高まり、国が創設した「固定価格買取制度」により、その導入が石川県においても急速に進みました。



石川県の再生可能エネルギー導入量

石川県では、「石川県再生可能エネルギー推進計画」に基づき、農業用水を活かした小水力発電の導入や、産官学連携による再生可能エネルギー機器の研究開発・販路開拓支援など、石川県の地域特性を踏まえた再生可能エネルギーの導入を推進しています。

いしかわ事業者版環境ISOは、自主的かつ簡単に環境保全活動に取り組むための本県独自の環境マネジメントシステムです。これまでに800を超える事業者が取り組んでおり、県では特に先駆的・模範的な活動に取り組んでいる事業所等を毎年表彰しています。

その中で「エコ活動の成果を知りたい」「キャンペーンにもっと簡単に応募できるようにして欲しい」といったご意見をいただくようになりました。一人でも多くの県民の皆さんが気軽にエコ活動を行い、その効果を見える化するためのツールとして、スマートフォン用アプリ「いしかわECOアプリ」を開発しました。

県民の声にこたえて いしかわECOアプリ 誕生！

文・写真 ◎ 石川県生活環境部温暖化・里山対策室

「いしかわECOアプリ」の 開発

紙からアプリへ

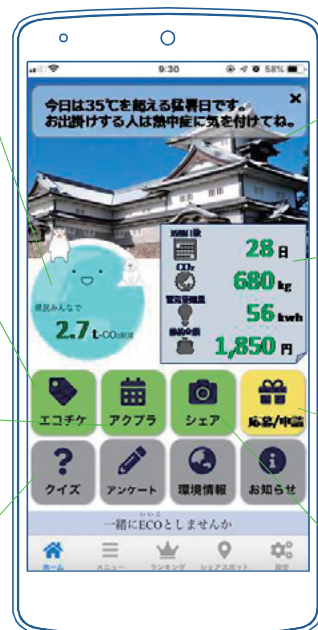


アプリ利用者の二酸化炭素排出量の削減量の合計を表示

エコチケットの申請時に必要な添付書類（検針票や写真など）を登録

省エネ・節電活動の実施状況をカレンダー形式で記録

環境に関するクイズなどを出題



キャンペーン開始などのお知らせを表示

省エネ・節電活動に取り組んだ結果を表示

エコチケットの申請や各種キャンペーンへの応募

クールシェアやウォームシェアのスポット検索やスタンブラリーに参加

使用量削減量、節約金額の4つの指標で見える化します。また、これまで専用ハガキや取り組みシートに必要事項を記入し、提出していたキャンペーンへの応募やエコチケットの申請が、今後はアプリを使い、指1本で簡単にできるようになります。また、県民の皆さんが楽しみながら気軽にエコ活動を継続して実践していただけるような機能を盛り込んでいます。

また、アプリをダウンロードした方を対象に、スーパードライやコンビニなどで使える「エコチケット」などをプレゼントするキャンペーンも予定しています。実施時期などはアプリ内でお知らせします。

県民の皆さんには、アプリをダウンロードしていただき、日々のエコ活動の実践に活用していただきたいと思います。

株式会社シ・ピ・エル（白山市）

- CO₂排出量を2013年比で2割削減
- 売上当たりの用紙使用量・産業廃棄物量を着実に削減

- 社員による技術提案制度で環境に関する意見を募集
- イベント用資材の再利用促進により業務の効率化と廃棄物の削減を図る
- 決裁のペーパーレス化、裏紙利用の徹底などにより、用紙使用量を削減
- 倉庫の大規模整理を行い、資材の位置や数量を把握。無駄を減らし省資源に繋げる



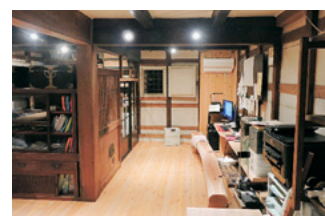
審査委員コメント

電子決裁の導入や倉庫の大規模整理、イベント用資材の再利用促進など、業務の効率化と大幅な省資源を同時に実現している点が素晴らしいです。また、社員を巻き込みながら事業者版環境ISOに10年以上取り組んでおり、環境マネジメントがしっかりと機能しています。

有限会社インテグレイテッドシステムズ（七尾市）

- 明治の土蔵をリノベーションしてオフィスとして活用
- さまざまな工夫による省エネ・省資源の実現

- 土蔵の特徴である分厚い壁を生かし、超高断熱の事務所を実現
- 窓の配置や開き方にこだわり、1階の天井に和紙を貼るなど、省エネの工夫
- 事務所のLED照明を必要な場所だけ照らされるように構成
- 高効率サーバやHV自動車の導入、ペーパーレス化、敷地内の緑化、熱源としての井戸水の活用など、幅広いエコ活動を推進



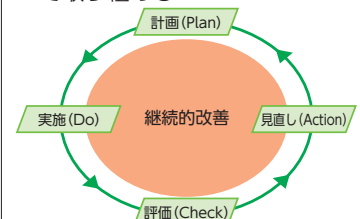
審査委員コメント

自らの工夫により、多方面から様々な取組を行い、省エネ・省資源に結びつけている点が素晴らしいです。特に、土蔵の特徴を活かしてエコオフィスとして利用する取組は面白く、今後はモデルオフィスとしてSNS等で積極的に普及していくことに期待します。

いしかわ事業者版 環境ISO優良活動表彰

文・写真 ◎ 石川県生活環境部温暖化・里山対策室

- 事業者版環境ISOの登録メリット
 - ①地域の環境保全（地球温暖化防止）につながる
 - ②社会的な信頼性が向上する
 - ③経費削減につながる
 - ④PDCAサイクルを事業所全体で取り組める



有限会社明清建設（白山市）

- ガソリン・軽油の使用量を2013年比で3割削減
- 地域のボランティア活動に積極的に参加

- 年式が古い重機等の積極更新により、軽油の使用量と経費を削減
- 蛍光灯の間引きや、冷暖房の保守点検など、省エネに向けた取り組み
- コーヒーメーカーを導入し、缶やペットボトルごみを削減
- 地域のボランティア活動にダンプ車を出すなど積極的に参加



審査委員コメント

建設業にとって温室効果ガス排出の最も大きな要因である重機・建設機械について、安価な中古車両ではなく、年式が新しい高燃費の車両を積極的に導入することで、大幅な省エネやコスト削減に結びつけている点が素晴らしいです。

また、利用予定に合わせて、消費期限や賞味期限を確認しましょう。当日の晩ご飯などすぐに使う予定なら、手前に陳列されている食品から選ぶようにしましょう。



買い物前のチェックで買いつぎを防ぐ

家に食材が残っているのに、同じものを買ってしまったという経験はありませんか。そんなことがないよう、出かける前に冷蔵庫内や食品収納庫などを確認しましょう。メモ代わりにスマホや携帯電話で撮影しておくとう便利です。

買い物前に冷蔵庫内をチェック

家庭でも買い物、保存、調理の工夫によって、食品ロスを大きく減らせます。ポイントは「必要な量だけ購入すること」「食べきる」ことです。

家庭でできる食品ロス削減

食材には、それぞれ冷蔵庫内の最適な保存場所があります。さらに、あらかじめ下ゆでして冷凍保存したり、キャベツやレタスの芯をくり抜いて濡れたキッチンペーパーを詰めたりするなど、ちょっとした手間をかけることで、食材を長持ちさせることができます。

保存場所の工夫や少しの手間で食材が長持ち

少し多めに食品を買っておき、使った分だけ新しく買い足していく「ローリングストック」は、常に一定量の食品を家庭に備蓄しておくので防災対策にもなります。賞味期限などもしっかりと確認し、期限の長いものを奥、近いものを手前にしておくこと、使い忘れを減らすことができます。

生で冷凍可能な野菜・果物の例
トマト、ピーマン、唐辛子、ネギ、パセリ、レモン
冷凍可能な食材の一例
キノコ類、ちくわ、油揚げ、納豆
調理後、小分け冷凍がおすすめの食材
ニンジン、ダイコンは軽くゆでてから、タマネギはみじん切りやスライスにして炒め、小分けにして冷凍します。



農林水産省および環境省の2017年度推計によると、日本国内では、食品ロスが年間約612万tも発生しています。これは国民1人当たり毎日お茶碗約1杯分のご飯の量(約

日本の食品ロスの現状

132g)に相当する食品を捨てている計算となります。世界には栄養不足の状態にある人がたくさんいる中で、食品ロス削減は真剣に取り組むべき問題です。また、食料の多くを輸入に依存する私たちにあって、環境への負荷の少ない循環型社会を目指すためにもとて

も重要です。

2019年10月には「食品ロスの削減の推進に関する法律」が施行され、まだ食べることができると食品が廃棄されないよう、国や自治体、事業者、消費者などが協力して、社会全体で取り組んでいかなければならないと明示されました。

石川県では、食品ロス削減に向け、法律の施行前から「いしかわ版環境ISO」で食品ロス削減の実践を呼びかけているほか、イベントなどでの普及・啓発に力を注いでいます。

石川県と事業者の連携

「食品ロス削減月間」の2019年10月に、石川県では新たな取り組みをスタートしました。「美味しいいしかわ食べきり協力店」の登録で

石川県における食品ロス削減の取り組み

文・写真◎ えこナビ編集部

す。小盛りメニューの提供や少量パックによる販売、啓発ポスターの掲示など、食品ロス削減につながる取り組みを実践する食品小売店や飲食店などを、食べきり協力店として登録しています。

初回の登録にあたっては、県庁で登録証交付式を実施しました。2020年3月末現在、1,118店舗が登録しており、同様の制度を実施する他県と比べると、制度創設初年度では全国トップの店舗数です。今後も協力店と連携しながら、食品ロス削減に取り組んでいきます。



食品ロス削減のための啓発ポスター

余っている食品はフードドライブで

食品ロス削減の取り組みとして、「フードドライブ」が県内でも広がっています。フードドライブは、家庭で余っている食品を持ち寄り、それらを福祉団体や子ども食堂、地域サロンなどに提供する取り組みです。NPO法人いしかわフードバンク・ネットでは、金沢市と能登地方北部に窓口を設け、賞味期限が1カ月以上残っている菓子や米、調味料など未開封の食品を募っていますので、ぜひ活用してみてください。

石川県内の受付場所における窓口開設日

- 金沢市保健所 西福祉健康センター
火曜 10時～14時
- 金沢市泉野福祉健康センター
第1・3・5月曜 10時～14時
- 金沢市元町福祉健康センター
第2・4金曜 12時～14時
- 金沢市役所 第二庁舎1階
※2020年5月中旬～
月曜～金曜 9時～17時45分
- 輪島市ふれあい健康センター
第1・3水曜 10時～12時
※年末年始・お盆・祝日は除きます。

お問い合わせ

金沢市環境局環境政策課
076-2220-2330
輪島市社会福祉協議会
0768-222-2219
いしかわフードバンク・ネット
076-1222-3310

ドーナツは完全受注生産で必要分のみ製造し、冷凍商品として納めて



規格外の野菜や果物、ナッツなどを材料に使用



他にも能登の塩をはじめ、卵、果物など、たくさんの北陸産素材を使っておき、地産地消による運搬時の温室効果ガス排出量削減にも貢献しています。2017年には規格外野菜の活用などが評価され、「いしかわエコデザイン賞」の金賞を受賞しました。

オーソドックスなオールドファツションやパティシエによる本格的なデコレーションドーナツなど、全部で150種類以上。材料は北陸の提携農家から仕入れ、規格外の野菜やナッツといった市場に出回らない、通常はロスになってしまうものを中心に使用しています。

います。そのため、保存料無添加でも賞味期限を長く設定でき、また集客状況を見ながら解凍して販売できるため、食品ロスを大きく抑えられます。

形の悪いドーナツは「型崩れ」と表記して販売し、それでも余ったものはアソート（詰め合わせ）の形で販売したり、県内の児童養護施設におやつとして引き取ってもらったりするなど徹底したロスの削減を図り、2019年には「美味しいいしかわ食べきり協力店」に登録されました。



集客状況を見て解凍するためロスが発生しません

グッズ展開も

ウフフドーナチュウではドーナツだけでなく、ハンドメイドグッズのオリジナルブランド「グッチュ」を展開



オリジナルブランド「グッチュ」の商品は本店やネット通販で購入可能

ウフフドーナチュウのこれから

ウフフドーナチュウでは、卸売やネット通販を通して日本全国、さらには海外へも販路を広げています。国内では東京や大阪などの大都市をはじめ、北は北海道から南は福岡県まで、合わせて200店舗以上で取り扱っています（2020年3月現在）。海外へは石川県の支援も得て、中国

開いています。子どもの肌に優しい素材を使ったドーナツ型スタイ（前掛け）やワンピース、機能性の高い折りたたみエコバッグなどの子育てグッズをセレクトし、本店やネット通販などを通して販売しています。

や香港、シンガポールなどアジアの国々を中心に展開しています。これらの販売先でもロスの出ない販売方法を提案しており、食品ロス削減の取り組みを広げています。

さらなる販路拡大のため、また子育て中のお母さんが働ける場を増やすため、2号店、3号店の出店も計画しています。食品ロスの削減やオリジナルブランドの展開を通して、環境にも地域にも、働くお母さんにも優しいお店を展開するウフフドーナチュウのこれからに注目です。

お問い合わせ

ウフフドーナチュウ本店
金沢市久安2-463 1F
電話／076-218-4062
営業時間／9時～15時
URL／<https://ufufu-ufufu.com/>
※本店以外の店舗はホームページ参照
※ネット販売も行っています



子どもが安心して食べられるよう、保存料無添加にこだわっています

子育て中のお母さんのためのドーナツ店

代表の志賀嘉子さんがドーナツ店を始めたのは2015年。「子育て中のお母さんたちが働きやすい場を作りたい」「子どもたちが安心しておいしい手作りおやつを食べてもらい



自身も子育て中の母である志賀嘉子さん

石川県では食品ロスの削減に取り組む飲食店や宿泊施設、食品小売店を「美味しいいしかわ食べきり協力店」として登録しています。今回は登録店の一つ、金沢市の株式会社ウフフが運営する「ウフフドーナチュウ」の取り組みから、食品ロス削減の現場を見ていきましょう。

たい」という思いからスタートしました。

スタッフが子育て中のお母さんのため、定休日は土曜・日曜・祝日とし、営業時間も朝の9時から15時までとするなど、子育てと仕事が両立できる職場環境を実現しています。ドーナツも子どもたちが安心して食べられるよう、保存料などは一切使用していません。

ウフフドーナチュウの食品ロス削減対策

ドーナツのバリエーションは、

美味しいいしかわ食べきり協力店の事例紹介、ウフフドーナチュウの取り組みから

文◎えこナビ編集部

写真提供◎ウフフドーナチュウ

学校教育を通じた海洋環境問題への取り組み、能登里海教育研究所の事例から

文◎えこナビ編集部

写真提供◎能登里海教育研究所

海洋の環境問題は、乱獲による水産資源の減少や二酸化炭素量の増加に伴う酸性化、また排水による汚染などさまざまです。

中でも長期間環境中にとどまるプラスチックごみは一度海洋に流出すると生態系や漁業などへ与える影響が大きく、代替品の利用やリサイクルの推進などさまざまな対策が世界中で模索されています。

一般社団法人能登里海教育研究所は、学校教育を通して海洋環境問題の解決を図るため、専門家などと連携し、教育カリキュラムの開発や教員の支援を行っています。

今回は、能登里海教育研究所の活動を紹介するとともに、2020年2月に行われた主催イベント「第2回いしかわ海洋教育フォーラム」の様子を報告します。

能登里海教育研究所の活動理念

一般社団法人能登里海教育研究所は、小・中・高校向けの体系的な海洋教育カリキュラムを開発し、そのモデル教育を石川県から発信し、最終的に「日本海モデル」として全国展開することを目指し設立されました。

- 能登里海教育研究所の活動方針
- 1 学校における体系的海洋教育カリキュラムの開発と実践
 - 2 実践支援体制の整備と人材育成
 - 3 海洋教育普及推進の戦略の開発と提示
 - 4 海洋教育フォーラムの開催

この4つの活動方針のうち「学校における体系的海洋教育カリキュラ



事務局は漁業の町・能登町小木の漁協建物内にあります

ムの開発と実践」は重要な理念の一つです。

日々の学習や指導に追われ、環境教育を行いたくても行えない小・中高校の先生方が数多くいます。研究所では学校外の専門家などとも連携し、先生の代わりに環境教育を行うのではなく、先生自身が環境教育を行えるカリキュラムづくりを進めています。

2015年からは能登町立小木小学校の5・6年生向けに「里海科」

午後の部はパネルディスカッション

午後の部では3人の講演者によるパネルディスカッションが行われました。

沖縄の海岸漂着物を研究している沖縄大学の盛口満学長は「漂着物の正体探し・ゴミ？それとも宝物？」というテーマで実際の漂着物を紹介。漂着物をゴミとしてひとまとめにする前に、中立的な視点で観察し直すことの大切さを伝えました。



盛口学長による漂着物の実物体験レクチャー

一般社団法人ピリカの小島不二夫代表は、海洋プラスチックごみ問題に対してスマートフォンアプリを活用したり、新たな調査方法を用いたりすることでごみ発生のプロセスを解明するなど、科学の力で環境問題の解決を目指す最新の取り組みを紹介しました。

最後は能登里海教育研究所の浦田研究員が海洋プラスチックごみ



学校教員と一般来場者を交えての意見交換

地球規模の課題である海洋プラスチックごみ問題は数年から十数年で解決できるものではなく、未来を担う児童・生徒たちにも解決を委ねることになるかもしれません。そのために何を伝えるべきなのか、どのような教育活動が求められるのか、フォーラムに集まった海洋関係者、教育関係者に一般の来場者も交え、熱い意見を交わしました。

フォーラムは貴重な意見交換の場

問題に取り組む教育活動や学校での課題を提起し、海洋教育の在り方について議論を深めました。



主幹研究員の浦田さん自身が生徒の前に立つこともあります

と位置づけ、常に新しい情報を踏まえつつ質の高い教育プログラムと教材の開発、提供、実践を目指しています。

課題として悩まされているのが慢性的なマンパワー不足です。学校教育現場に理解があり、柔軟な判断力を持つコーディネーターといった協力者を求めています。

苦労の中でも、将来「里海科」の教育を受けた児童・生徒たちから海洋環境問題に取り組む人材が出てくるかもしれません。これからの環境問題に対処するためにも、学校教育が果たす役割は大きいでしょう。

お問い合わせ

能登里海教育研究所
鳳珠郡能登町小木34-11
電話／0768-174-1107
URL／<https://sites.google.com/site/notosatoumi/home>



能登町立松波中学校の藤田先生による発表

午前の部ではまず研究所が支援している学校での取り組みの報告会と意見交換会があり、能登町立小木小学校の「里海科」の活動や能登町立松波中学校の海藻を活用したカリキュラムの事例、石川県立金沢二水高等学校の海洋動物を用いた探求学習プログラムの発表が行われました。

午前の部は活動報告から

レポート

第2回いしかわ海洋教育フォーラム 海洋プラスチックごみ問題から考える里海

2020年2月22日、金沢海みらい図書館で能登里海教育研究所主催の「第2回いしかわ海洋教育フォーラム」が開かれ、教育関係者や海洋の専門家が集いました。



いしかわ動物園で生まれたライチョウのヒナ



ライチョウ一般公開のセレモニー



一般公開されたライチョウ



ライチョウの峰体験学習ゾーン

いしかわ動物園に おける取り組み

ライチョウはかつて白山にも生息し、ライチョウが我が国の文献に初めて登場する地が白山であるなど、石川県に大変ゆかりが深い鳥です。いしかわ動物園では、白山で約70年ぶりにライチョウ1羽が確認された翌年の平成22年（2010）から

近縁種のスバルバルライチョウによる飼育繁殖技術の習得に努め、平成29年（2017）からはライチョウの飼育に着手しました。平成31年（2019）にはライチョウの人工繁殖に取り組み、同年7月にいしかわ動物園では初めてとなる、繁殖行動から産卵、ふ化に至るまでの一貫した取り組みに成功しました。生まれた6羽は現在も元気に成長しています。

一般公開

いしかわ動物園では、種の保存の大切さを広く知ってもらうために、

さいごに

いしかわ動物園では、ライチョウを絶滅から守るため、引き続き、飼育・繁殖に取り組むとともに、ライ

チョウの公開を通じて、多くの方々に種の保存の重要性を伝えていきます。県民の皆様には、いしかわ動物園に足を運んでいただき、実際にご覧いただくことで、自然保護について考えを深めていただければと思っています。

いしかわ動物園

能美市徳山町600

電話／0761-5118500

営業時間／4月10日～9時～17時

11月3日～9時～16時30分

休園日／火曜（祝日の場合は翌平日、

小学校の春・夏休み期間中は

除く）、年末年始

入園料／一般840円、中学生以下（3

歳以上）410円

石川県におけるライチョウの 種の保存への取り組み

文・写真◎石川県生活環境部自然環境課

ライチョウとは

日本のライチョウは氷河期に大陸から分布を広げ、日本の高山帯に住むようになり、ライチョウの種類の



夏期のライチョウ（環境省提供）



冬期のライチョウ（環境省提供）

体重は450～550gほどで、主に高山植物の芽、種子などを食べます。春から秋には白・黒・茶のまだら模様、冬期には真っ白と、羽の色が大きく変わるのが特徴で、羽の色を変え、周囲の環境に溶け込むことで身を守ります。

ライチョウの置かれて いる現状

日本のライチョウは本州中部の標高2,200～2,400m以上の北アルプスや南アルプスなどの一部に生息しています。1980年代には約3,000羽が生息していましたが、2000年代には約1,700羽にまで減少し、絶滅が心配されています。減少の要因として、捕食者であるキツネやテンなどの高山帯への侵入と増加、地球温暖化による高山環境の縮小などが挙げられます。

保護の取り組み

環境省ではライチョウの生息数の減少を受け、高山植物の保全活動や



乗鞍岳での採卵の様子（環境省提供）

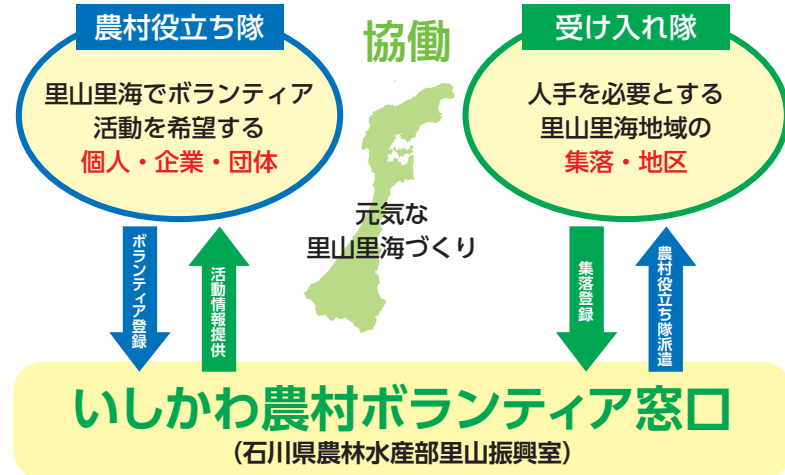
天敵であるキツネやテンなどの捕獲を行い、本来のライチョウの暮らし環境を回復する取り組みが進められています。

また、平成27年・28年度（2015・2016）の2カ年にわたり乗鞍岳の野生のライチョウの卵を採取し、動物園において飼育・繁殖の取り組み

農村集落では、農業だけでなく地域の資源である農地周りの水路や農道を、泥上げや草刈りなどの協働活動を通して守ってきました。このような活動により、里山里海が守られてきたともいえます。しかしながら、近年集落人口の高齢化・減少が進み、人手不足に困っている農村集落も出てきており、里山里海の荒廃が心配されています。

こうした中、平成22年（2010）に、人手が足りなく困っている農村集落と、ボランティアに意欲的な金沢などの都市部に住む住民を結びつける「いしかわ農村ボランティア」制度が誕生しました。

今回はこの「いしかわ農村ボランティア」のうち、2つの活



いしかわ農村ボランティアイメージ図

「いしかわ農村ボランティア」について

県では、農村でのボランティア活動に参加していただける方を「農村役立ち隊」、ボランティアの受け入れを希望する集落を「受け入れ隊」として登録し、協働活動を通じて、元気な里山里海づくりを推進しています。ただいま、「農村役立ち隊」「受け入れ隊」とともに募集中です。お気軽にお問い合わせください。

■概要

【活動内容】 棚田周辺や耕作放棄地の草刈りや、農作物の植付・収穫など

【受け入れ隊登録地区数】 能登地域20地域、加賀地域11地域

【農村役立ち隊登録条件】 18歳以上の健康な方であれば、県内外を問わずどなたでも申込み可能

【その他】 遠方の活動は金沢駅・県庁からバスを運行します。（利用料無料）
当活動は里山ポイント対象活動です。

※内容はすべて令和2年（2020）1月現在のものです。

詳しくは、下記まで。

石川県農林水産部里山振興室

TEL：076-225-1631 MAIL：satoyama@pref.ishikawa.lg.jp

URL <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/satoyama/borantia/>

農村集落と都市住民の協働活動による元気な里山里海づくり 「いしかわ農村ボランティア」活動のご紹介

文・写真 ◎ 石川県農林水産部里山振興室

これは、農地や森林の整備、生きものの保全活動など、里山里海の保全・

里山づくりISO認証の対象となる活動の例

- ・里山の田んぼ・畑づくり支援活動
- ・里海の森づくり支援活動
- ・里山の集落コミュニティの活動等
- ・里山の生きものを守り育てる活動
- ・里山の外来生物駆除活動など

いしかわ里山ポイント制度

さらに、2012年度には全国で



水辺での生きものの調査



いしかわ里山ポイントの案内



農道・用水の草刈り

も初の取り組みとなる「いしかわ里山ポイント制度」を導入しました。この制度は、2011年度に創設した「いしかわ里山創成ファンド」（2016年4月から「いしかわ里山振興ファンド」・P33も参照）を活用した取り組みで、いしかわ版里山づくりISO認証団体等が主催する里山での田んぼや畑の草刈りや、植林などの森づくり活動といった里山の保全活動に参加すると、参加者に里山ポイントが交付されるというものです。

参加者は貯めたポイントを、事業に協賛する農産物直売所や地産地消を推進しているお店で利用できる里山チケットに交換することができます。

この制度の導入により、個人レベルの自主的な里山の保全活動への参加を促進し、元気な里山づくりに繋がっていきと考えています。

いしかわ版里山づくりISO

県では、企業やNPO、学校など、より多くの方々に里山づくり活動に参加していただくため、「いしかわ版里山づくりISO」制度を2011年度に創設しました。

利用のための取り組みをガイドラインとして提示し、これを参考に行う企業や団体などの活動を県が認証するものです。県では、各認証団体の里山づくり活動に関する情報発信や、活動に必要な道具の貸し出し、講師の派遣などの支援を行っています。

文・写真 ◎ 石川県生活環境部温暖化・里山対策室

いしかわ版里山づくりISO・いしかわ里山ポイントの紹介

金沢市小池町では、高齢化による離農で荒れていた農地を再生し、地域の社会福祉法人と連携しながらサツマイモの生産・加工に取り組み、地域の活力を創出しています。しかし、作業のピークとなる収穫時期には人手が足りなくなることも多く、当制度を活用し、人手を補っています。

今回は、里山の現状や地域の保全活動を知ってもらうため、子供も参加できる「親子体験ツアー」を特別開催し、親子14組、計43名が参加。現地の方から地域のことや農場が作られた背



力を合わせて掘ります！

サツマイモ収穫を親子で楽しむ

景の説明を受けたのち、サツマイモの収穫ボランティアを行い、約200本のサツマイモを収穫しました。

作業終了後、参加者は、青空の下で子供の声が響く明るい雰囲気の中、

《活動レポート②》 金沢市小池町 特別開催 「親子体験ツアー」

活動日：令和元年（2019）10月6日



青空の下での昼食



収穫した大きなサツマイモ

集落の方の手作りのおにぎりやめった汁をいただき、交流を楽しみました。

【参加者の声】

受け入れ隊

想定以上に作業が進み、助かりました。

農村役立ち隊

- ・人の役に立てたのがうれしい。（お子様）
- ・泥だらけになったけど楽しかった！（お子様）
- ・大人でも力のいる作業でしたが、一生懸命作業するわが子に感動しました。（保護者）



小池町の位置

草刈りを通して地域交流を図る

穴水町下唐川にある丸山集落は、山間の小規模な集落です。人口減少に伴い発生した耕作放棄地を解消するため、桜を植樹し手入れを続けるなど、里山の保全活動に取り組んできました。現在では、毎年春になると花見客が訪れる程見事に育ち、地域の活性化にもつながっています。しかし、最近が高齢化によって保全活動の人手が不足していることが課題となっています。

この日は、桜の木周辺の草刈りを実施。農村役立ち隊21名が現地向き、地元の人とともに背丈ほどにも伸びきった雑草を2時間かけてきれいに刈り取りました。

作業終了後、農村役立ち隊のみなさんは、集落のお母さんの心づくしのカレーライスをいただきながら、地域住民との交流を楽しみました。



背丈ほどの雑草を刈り取る様子



桜の木の下での休憩



交流を楽しみながらの昼食



丸山集落の位置

【参加者の声】

受け入れ隊

毎年、皆様のご協力に感謝しています。来年も懲りずに、また来て欲しいです！

農村役立ち隊

- ・暑い日でしたが、自然に癒された一日でした！
- ・農家の人たちとの交流が楽しみで毎年来ています！

クローズアップいしかわ自然学校

いしかわ自然学校は、行政機関やNPO、民間事業者、指導者養成講座の修了生の有志からなる団体など、多くの、そして多彩な主体によって、年間400を超える数の自然体験・環境学習プログラムを提供しています。平成15年（2003）に開講したインストラクタースクールは、今期末までに233名が修了しています。修了生には実施団体で中心的な役割を果たす方や、インストラクター同志でチームを組んで活動を継続している方などさまざまです。

今回は、金沢市とその周辺で、感性に響く自然体験活動を展開する「はぐくみ」の活動を紹介します。

ふりかえることができる 原風景を子どもたちに

はぐくみ 代表 髙原 千裕

子どもの頃の疑問

「こんなに晴れているのに……なん
で外で遊ばれへんの？」1980年
代初め「光化学スモッグ」とやらの
せいで閉めきられた小学校の窓から、
私は校庭を眺めていました。高度経
済成長期後に生まれ、公害や環境問
題に世界が真剣に取り組み始めた時
代に大阪で育ちました。幸い、近所
はお寺や神社ばかりだったので、都
会の真ん中の緑の中、クマゼミや数

の少ないアブラゼミやお宝タマムシ
を友達と争うように捕まえていまし
た。

夏休みなどの長期休みにはいつも
母のふるさと、兵庫県城崎へ。「働
かざる者食うべからず」だったので、
ニワトリの世話や稲の苗床作り、畑
の草むしり、シイタケの収穫など、
專業農家の伯父を手伝い、今から思
うと贅沢な体験をしていたと思いま
す。

伯父がある時「コウノトリ見に行



豊岡のコウノトリ
(豊岡市フォトライブラリーより)

くか」と隣の豊岡市まで連れて行っ
てくれました。大きな鳥カゴのよう
なケージの中に、数羽飼育されてい
た立派なクチバシの鳥を見て、「周
囲はこんなに緑いっぱいなのに、な
んでコウノトリいなくなったん？」
と不思議でした。

楽しみながら 今ある自然と向きあう

キャンプやバックパック旅を楽し
む学生時代を過ごし、結婚して石川
県へ。豊かな里山里海に子どもと一
緒に出かけるうちに、いしかわ自然
学校と出会いました。魅力的なイン
ストラクターさんと一緒に感じた自
然の面白さや心地よさ。私もそう
いう活動をしてみたいと受講して、ネ
イチャーゲームリーダーといしかわ
自然学校インストラクターになりま
した。

先輩方のまねをしては失敗し、私
は何かできるのだろうと落ち込んだ
こともありましたが、ある時「近く



森のそめものやさん

は、たたき染
めをしたり、
生葉染めした
美しい水色の
シルクをコ
サージュに仕
上げてくださ
る園があったりと、どんどん輪が広
がってすてきな取り組みが続いてい
ます。



季節さがし

の森を使った工作」をテーマに夏休
みの自然体験を頼まれ、小学生50人
とヨモギで草木染めをしました。独
学だったのですが、そこからすっか
りハマってしまい、夜な夜な身近な
草花で染めては、良い色が出ると『は
ぐくみ』のプログラム「森のそめも
のやさん」として実施しました。

なかでも人気なのは、夕日寺健民
自然園の芝生に進出している外来植
物のメリケンカルカヤの鮮やかな黄
色。参加者の皆さんに刈ってもらい、
煮汁を作ってマイ手ぬぐいを染めて
もらう企画で、①里山保全②外来植
物③手ぬぐいのススメなどの想いも
込めてお話をしています。

藍を種から育ててくれた保育園で

『はぐくみ』では参加者の皆さん
の「こんなことがやりたい」という
リクエストや
周りの皆さん
の得意なこと
を持ち寄って、
私も一緒に楽
しませてもら
っています。



「森のcockさん」すら〜りイ
ノシシの練りきり

幼児期の体験こそ原点

近年、自然体験を取り入れる幼稚
園や保育園が増えていきます。自然の
中で遊ぶことで体やこころが発達し、
創造力や問題解決能力など、主体性
や生きる力を育む効果があるよう
です。保育は専門外ですが、インス
トラクターとして森の中で一緒に活動
していると、お友達に優しい気持ち
が生まれている瞬間や成長を見る機
会があります。

ふと思い出して「そういえば春に
草団子を作って食べたなあ。ヨモギ
ってこれだっけ？そうそう！この香
り！」と懐かしくなるような原体
験（直接体験）の機会をたくさん作っ
てあげる、それなら私にもできると
思うようになりました。

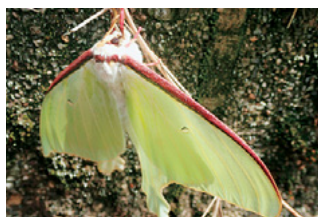
籠の中の鳥だったコウノトリは今



4歳児さんと葉っぱ遊び



親子で雪遊び



守りたい美しさ。オオミズア
オ羽化

では日本の空
を羽ばたいて
います。大人
になって、我
が子と城崎を
訪れた時、田
んぼで営巣し
ている姿を見た感激。子どものころ
遊んだ、あの里山が私の原点なか
もしれません。

問い合わせ先

髙原 千裕（せんちゃん）
兵庫県豊岡生まれ、大阪育ち。金沢市
在住。はぐくみ 代表
メール／chijiin@yahoo.co.jp
石川県シェアリングネイチャー協会
事務局
メール／ishikawa.sna@gmail.com



モリアオガエル



モリアオガエルの卵塊

変わり者で独身だった伯父はマム
シをつかまえては、首ねっこを持っ
たまますーパーカブ（バイク）で町
の薬屋さんに売りに行くような人で、
山や海の遊び方を教えてくれました。



全国で廃瓦リサイクルの推進を可能にした車載式生コンクリートプラント

車載式生コンクリートプラント
G A I A X (ガイアックス)

「瓦舗装材は「特殊コンクリート」という分類になり、従来の生コンクリートプラント（固定式プラント）では製造が困難な場合が多いのです。しかし、プラントがないと材料の製造が困難という課題がありました。他県で瓦舗装材を作ろうとすると、人力で計量して作り上げることになり、非常に大変で非効率でした。そこで、トラックに載せて移動できる、「車載式生コンクリートプラント」G A I A X (ガイアックス)を開発しました。現在では、このG A I A Xを活用し、全国で廃瓦のリサイクルを推進しています。



南米・ペリウはレンガ作りの建物が数多くあります



レンガの廃材も瓦同様リサイクルできます

SDGsへの貢献

日本同様に瓦や似た素材であるレンガが多く使われている国々でも、

なお、固定式プラントではなくさんの材料を一度に量産できますが、製造された材料は1時間半以内に使用しなければ品質劣化を起こします。この点からも、移動でき、作ってすぐ使用できるG A I A Xは画期的なプラントになります。

当社の技術が必要となるのではないかと考えました。現在欧州各国やペルー、ペリウなど調査を行い、廃瓦やレンガ廃材の存在とリサイクルの必要性を確認しました。さらに、水で困っている地域が世界には多々あります。こういうところでは、コンクリートでつくる水路等がとても重要になってきます。その際、水路は延長距離が長いことも多く、固定式プラントよりも移動できるプラントが効率的です。このよ

廃瓦の現状

廃瓦は全国で年間100万t弱ほど排出されていると考えられます。現在ではリサイクルが進みつつありますが、依然として埋立てて捨てられているものが多くあります。当社では平成10年（1998）より廃瓦のリサイクルに着手しました。廃瓦は粉碎し、砂利や砂状の製品にしています。これをそのまま「瓦チップ」として使ったり、セメント等で固めて「瓦舗装材」にして主に公園の園路や広場などといった場所ですりつぶしています。また、当社はこのような技術を全国の建設会社やリサイクル会社などへ提供しています。現在では全国22社で廃瓦リサイクルネットワークを構築し、全国の瓦のリサイクルを進めています。

廃瓦を建設資材として蘇らせる！



大量の廃瓦



砕く（破砕機）



園芸資材
瓦チップ

瓦舗装材

瓦砂	瓦チップ（砂利）		
	砂	小粒	中粒

廃瓦が建設資材になるまで

多孔質な瓦は イマドキの舗装材になる

瓦の中身は素焼きレンガのようなもので、非常に多くの孔（空気層）がある「多孔質」構造になっています。この瓦の砂利は通常の石等と比べると、熱が伝わりにくく熱くなりづらい、そして保水するという特徴があります。一般的な舗装材は通常の石を骨材として使いますが、このような多孔質な瓦を骨材として舗装材に使うと、夏場熱くなりづらい、ヒートアイランドを抑制できる舗装材になります。瓦舗装材は廃瓦のリサイクルというエコと、環境性能のエコというダブルのエコを追求する、イマドキの舗装材となります。



小松市・木場湯公園の瓦舗装



廃瓦やレンガ廃材のリサイクル事業はSDGsの理念にも合致します

お問い合わせ
株式会社エコシステム
能美市寺井町口50-1
電話／0761-5816900



不法投棄防止看板付近をパトロールする連絡員（右側）とボランティアの方

能登町は、能登半島の北東部に位置し、平成17年（2005）3月1日、能都町、柳田村、内浦町の2町1村が合併して誕生しました。

自然豊かな里山里海を有し、天然のリアス式海岸である九十九湾をはじめ、恋路海岸、遠島山などの景勝地があります。町の北西部には、ブナ林で知られ展望が楽しめる鉢伏山があり、町域の約8割が丘陵地となっています。

農業、漁業等の第一次産業が盛んで、主な産物として、里山からは、良質米のコシヒカリ、ブルーベリー、能登栗、里海からは、「のと寒ブリ」のブランドで有名なブリが水揚げされます。

町の取り組み

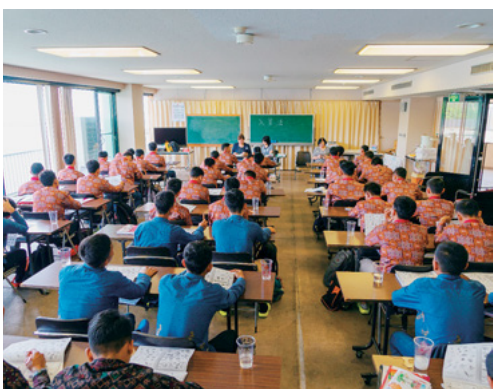
●不法投棄の防止

能登町では、不法投棄を防止するために、次のことを行っています。

者の皆さんに、食品ロス削減を呼び掛けてもらっています。

●外国人向けごみの分別・出し方講習会

能登町小木港の中型イカ釣り船で漁業技術を学ぶ外国人漁業技能実習生に対して、毎年、ごみの分別や出し方について説明をしています。言葉も文化も違う国で研修するのは戸惑うことばかりで大変だと思いますが、ごみ出しを通じて日本の生活習慣に慣れていただき、気持ちよく3年間の研修を終えていただけることを願っています。



インドネシアから来られている実習生に説明している様子

これから・・・

これまでの、大量に生産して大量に消費し、大量に廃棄する社会から、資源消費や環境負荷が少ない事業活動が、社会や消費者に評価され発展していく持続可能な社会が望まれます。

能登町では、町民一人ひとりが環境保全を意識し、出来ることから始め、問題を改善していけるよう活動していきます。

お問い合わせ

能登町役場 住民課

鳳珠郡能登町宇出津下字50番地1
電話／0768-16218510
FAX／0768-16218501
メール／junin@town.noto.lg.jp



毎年何tものごみが集まります



朝早くから、地元の方や多くのボランティアの協力により実施されます

町の多くの町内会では、5月から7月にかけて毎年、道路路肩や町内の草刈り、側溝の泥上げ、ポイ捨てごみの回収など多岐にわたって清掃活動が実施されています。

●食品ロス削減に向けて

能登町では、食品ロスの問題について周知し、食品ロスを減らしていくために、「3010（さんまるいちまる）運動」をはじめとする食品ロス削減の取り組みを推進しています。会食時の食べ残しを減らすために、町内の宿泊施設や飲食店に対して、啓発用のペーパーコースターとチラシを配布し、幹事さんから参加



啓発用ペーパーコースターとチラシ

の共同作業に位置づけられている。川がないのに池に水が溜まるのは、もともと谷津である場所をせき止めて地面から湧き出る水を集めているからで、それほど降水量が多いことも水の確保が容易な理由のひとつだ。飲料水も、今は能登島大橋の下を通って島に運ばれる牽水が遠く手取川の水を運んでおり、蛇口をひねれば水道水が供給される。しかしこの「普通の」生活インフラはそんなに普通のことではなく、今でも井戸水を使っているお宅も珍しくはない。橋が開通してほんの30数年、歴史的にみれば随分と最近のことなのだから。



昭和57年(1982)に架けられた能登島大橋。人や車だけでなく飲料水も運ぶ、能登島のライフラインだ



能登島の平野部を高い位置から眺めると、広大な田んぼが海岸線ギリギリまで広がっているのがよく分かる

海が育んだサステイナビリティ

文・写真

◎ 能登島地域づくり協議会 事務局 福嶋 葉子

石川県民には水族館の島として知られる能登島。能登島大橋を渡ってそのまま道なりに進んでいけば、自然のとうじま水族館に辿り着くようになっているが、島の外周にも県道が通っておりぐるっと一周、海を横目にずっと走ることができる。その道端には海の際まで水田が広がり、路線バスも行き来するため、人も物資も通っていく重要な生活道路となっている。海と田んぼが同じフレームに入るのは、能登の人々には当たり前の光景だが、ふと考えてみると実は不思議な景色でもある。もともと集落は海沿いにあり、人々の生活圏である海沿いの浅瀬を干拓して農地が広げられてきたのだが、海からの塩害はないのか？ 水はどのように確保しているのか？ 田んぼ、大丈夫なの？と「はてな」の連続である。

実際、能登島は小さな島だから大きな川はなく、耕作に必要な水はもっぱら雨水とため池からの用水でまかなっている。ため池は在所（＝集落）ごとにいくつかずつ整備されており、水路を含めた管理も「えんぞ掘り」と言っている在所



能登島の各地には湧き水の自噴する箇所がいくつかある

水がなければ人間も生きてはいけませんが、能登島にはおいしい湧き水が自噴している箇所がいくつもあり、また井戸を掘れば水が出るところも多い。だからこそ、まわりを海に囲まれているながらも人々の生活が成り立ってきた。では、どういうメカニズムで水が湧くのか？ それは土と深いかわりがあるそう。能登島の西側は火山がつくった赤土、東側は珪藻土がつくった砂地、何万年も前の海の底の活動が隆起などにより島を作った。その二つの土壌の境目であ

る島の中心部が向田町で、能登島でも一番大きな在。所。なるほど、高台の下つまり断層に沿って細長く広がる集落には、豊富な湧き水が一年中ほとんどん流れているお宅や、水道水のほかに井戸水も使っているお宅も多い（すっきりとした軟水で、この水でお米を炊いたりお茶をいれたりすればとても美味しい）。土壌の境目は地

下水が地表に湧き出すポイントになっており、ここに人々が集落を作ったことが納得できる。また、島の南側にある二穴という地区では、集落が背負う高台に横穴を掘り、岩盤から染み出る水を溜めて使っていたそうで、その名残の穴が今も残る。水があるから村ができたのだ。

気候的にも、能登島ではリンゴもとればミカンもとれる、まさに美味しいところどりの土地柄。野生のイルカも住み着くほど水産資源も豊富で、昔はマツタケの産地だった。まわりは海に囲まれていて交通・交易の経路にもなっており、しかも半島に囲まれた内海であるから年間を通して穏やかで災害も少なく、まさに持続



能登島は東西で地質が異なり、その境界が湧水のポイントになっていることが多い
(出典：国土地理院ウェブサイト (<https://www.gsi.go.jp/>) の地図に産総研地質調査総合センター (<https://www.gsj.jp/>) の20万分の1日本シームレス地質図V2を重ねたもの)



豊かな土地がさまざまな農産物をもたらす



能登島周辺に現れるイルカたち

可能性が高い場所。この海のお陰で能登島の今がある。各地で災害が相次ぐ昨今、この有難い環境を再認識し、この地で生きてきた人々が繋いできてくれた暮らしに改めて感謝したいものだ。

ふくしま・よつこ

能登島地域づくり協議会・地域づくり専門員。金沢市生まれで、実家は東山の三味線店。バックパッカーとして各国を訪れ、イスでのガイド経験あり。30代半ばで再び大学に編入し、卒業と同時に七尾市に移住。能登島の地域づくりに携わる。現在は「のと島クラシカタ研究所」を立ち上げ、島の暮らしを受け継ぎ、引き継ぐための活動を行う。

地域資源の特色を活かした 元気な里山里海づくりと取り組み事例の紹介

石川県農林水産部里山振興室

いしかわ里山振興 ファンドについて

多くの生き物にとって貴重な生息空間である里山里海は、生活様式の変化や過疎・高齢化などの影響により、荒廃が進んでいるのが現状です。このため、県では、里山里海に人の手を入れ、活用することで、地域に新たな価値を創造し、その価値がさらに人を呼び込むという良い循環の形成に向け、地域の特色ある資源を活用した、元気な里山里海づくりを推進しています。

里山里海は、人がいて生活をして初めて成り立つところであることから、集落にとどまって生きていくには、生活の糧を得るための生業が必要です。

「いしかわ里山創成ファンド」は、平成23年度（2011年度）に県と

地元金融機関が資金を拠出して基金を創設し、その運用益等を活用して、農業・非農業を問わず、里山里海ならではの新しい商品やサービス提供を行う生業の創出や、住民自ら行う里山資源を活かしたイベント開催、里山の資源を活用した循環モデルの創出などを支援しています。

平成28年度（2016年度）からは、名称を「いしかわ里山振興ファンド」に改め、より多くの企業や団体の取り組みを支援するために採択枠を拡大したことに加え、新たにスローツーリズムを推進し、来訪者が一日でも長く滞在できる多様なサービスの開発を支援しております。

今回は、平成27年度（2015年度）と平成28年度（2016年度）に採択したの2つの事例を紹介します。

いしかわ里山振興ファンド（公募事業）

1. 生業の創出

(1) 里山里海の資源を活用した生業の創出への支援

地域に埋もれている農林水産物など地域資源の発掘から商品試作にいたる里山里海の振興に向けたモデル的な取り組みに対する支援

■補助率：3/4 ■補助限度額：2,000千円（3年以内）
■対象：農林水産事業者、企業（個人事業者含む）、NPO等

2 里山里海地域の振興

(1) 里山里海地域を元気にするイベント支援

住民自ら行う里山資源を活かしたイベント等への支援

■補助率：3/4（1年目）、2/3（2年目、3年目）
■補助限度額：1,500千円/年（1年目）、1,000千円/年（2年目、3年目）
■対象：里山里海地域に居住する住民が主体となる団体等

(2) 里山の資源循環モデルの構築による地域おこし

里山の資源を活用した循環モデルを創出する取り組みに対する支援

■補助率：2/3 ■補助限度額：1,500千円（2年以内）
■対象：農林水産事業者、企業（個人事業者含む）、NPO等

3 スローツーリズムの推進

(1) モデル的な取組への総合支援

里山里海地域の宿泊施設、飲食店、体験施設等が連携し、里山の魅力を高め、多様なサービスを提供することで、農林水産業及び里山里海地域の振興を目指す取組に対する支援

①地域のネットワーク化計画の策定（補助率：10/10）
②多様な滞在メニューの開発（補助率：10/10）
③里山里海の景観形成（補助率：1/2）
④宿泊施設等の改修 ※景観と調和した建築様式（補助率：1/2）
■補助限度額：15,000千円（3年以内）

(2) 多様な滞在メニューの開発支援

来訪者が一日でも長く滞在できる多様なサービスを開発する取り組みに対する支援

■補助率：3/4 ■補助限度額：1,000千円（2年以内）
■対象：農林水産事業者、企業（個人事業者含む）、NPO等

活動レポート① 〈平成27年度いしかわ里山振興ファンド採択〉

能登志賀ころ柿の生果貯蔵技術の開発と市場開拓の取り組み

志賀農業協同組合 代表理事組合長 新谷 克己

ころ柿とは、干し柿の一種で、能登志賀ころ柿は、志賀町の特産品として知られています。原料には糖度の高い品種の「最勝柿」を使用しており、鮮やかな飴色、柔らかい果肉が特徴です。ころ柿作りは、地域に古くから伝わる伝統技法で行われ、近年では、年末年始の高級贈答品としても人気が定着するようになりました。

原料柿は、10月下旬から11月中旬にかけて収穫されますが、収穫した柿は、短期間で軟化が進むため、ころ柿の作業労力が一時期（11月中旬から12月下旬）に集中します。

このため、生産者の高齢化や担い手不足により、原料柿の収穫や加工がしきれず、ころ柿の出荷量が減少傾向にあったことから、労力の確保が喫緊の課題となっていました。

そこで、原料柿を長期貯蔵することと、加工期間の延長を図り、出荷

量を増産することを目指しました。また、加工期間における作業ピークの平準化を図ることで、生産者の加工労力の負担も大きく軽減できます。里山振興ファンドを活用して、貯蔵方法を確立し、約1か月程度保存が可能となりました。これにより、良質なころ柿を供給できる体制が整備でき、生産者の所得向上や生産意欲の向上に直接的な効果を発揮しています。

また、国内需要は12月頃までですが、貯蔵期間の延長により、出荷時期を遅らせ2月頃まで出荷が可能となることから、春節を迎える中国、台湾等の海外需要も期待できます。平成28年（2016）には、伝統的な製法や地域ぐるみで品質を守る取り組み等が評価され、国の地理的表示（GI）保護制度※に登録されました。

今後、GI制度登録を契機にさら

活動レポート② 〈平成28年度いしかわ里山振興ファンド採択〉

規格外品を活用したブルーベリーソースの商品化

ひらみゆき農園 平 美由記

能登町は、ブルーベリーの産地で、現在、約120戸ほどの生産農家がブルーベリーを生産しています。私は、地元の能登町にUターンして、平成22年（2010）より父から農園を受け継ぎ、ブルーベリーの無農薬栽培を開始しました。しかし、生産者の高齢化が著しく、今後、ブルーベリーの産地として振興していくためには、担い手の育成が大きな課題でした。

若手の後継者が少ないことから、農家の所得向上を図ることで、生業を創出し、後継者の育成につなげたいと考えました。ただし、生果販売だけでは、生業として成り立たないため、安定した収入を確保する必要があります。

そこで、これまで形や大きさの揃わない規格外のブルーベリーが廃棄され、農家の意欲を削いでいたことから、まずは規格外品を有効活用し

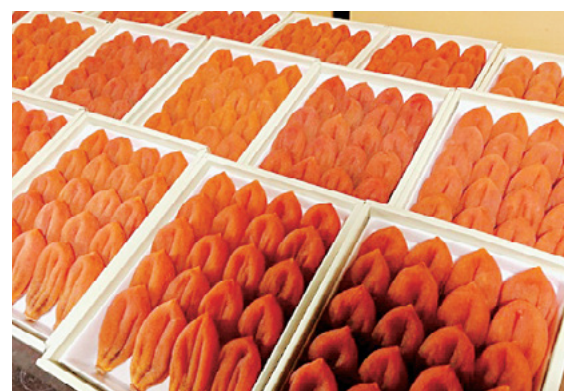
た商品開発に取り組むことにしました。はじめは、ひとりで思い悩んでいましたが、知人や友人を頼ることで、ネットワークも広がり、次第に協力者も増えました。県内で活躍する若手女性農業者との出会いもあり、よい刺激を受けながら、楽しく挑戦できたように思います。

ただ、私自身、子育てしながらフルタイムで活動するには限界があり、同年代の仲間も同じような悩みを抱えていましたので、仕事と家庭の両立を叶えるため、次に女性の働きやすい職場づくりを目指しました。繁忙期に人手が必要となるときでも、家庭や子育てを優先してもらい、空いた時間に手伝ってもらうことで、課題を解決することができました。

同世代の仲間と協力しながら試行錯誤を重ね、今回、規格外品を活用したブルーベリーソースの商品化を実現することができました。砂糖控



地理的表示（GI）保護制度
※地域の特色を活かした農林水産物をブランドとして国が保護する制度



柔らかく色鮮やかな「ころ柿」

なる事業拡大のため、国内外で販路を開拓し、良質なころ柿を増産することと、地域の生業創出や産地の発展に貢献できればと思います。



無農薬ブルーベリー



平 美由記さん

えめで保存料不使用の安全安心な自然の甘みを生かした美味しいブルーベリーです。是非、皆さんに味わっていただきたいです。



美味しさが詰まったブルーベリーソース



農業女子



最勝柿



原料柿の長期貯蔵

お問い合わせ
志賀農業協同組合
羽咋郡志賀町堀松六字12-24
電話／0767-132-11741

お問い合わせ
ひらみゆき農園
鳳珠郡能登町字中斉マ部字44甲
電話／0768-176-11189

いしかわエコデザイン賞2019受賞製品・サービスの決定について

大賞 スーパーミニモグ穿孔機

＜製品領域＞ 株式会社北菱（小松市）

〔概要〕
地上からの遠隔操作により、下水道管内の混入異物を除去・清掃したり、配管接続のための孔をあけたりする維持補修用の作業ロボットです。



〔評価点〕
現場での作業性やメンテナンスを考慮した環境配慮型の設計に加え、小型・軽量化と低廉化を可能とした高い技術力、国内はもとよりインフラ老朽化が深刻な海外にも対応できる点を評価。



大賞 椅子再生工場の挑戦

＜サービス領域＞ 株式会社エフラボ（七尾市）

〔概要〕
古くから建具や繊維業が盛んな中能登地域で、熟練の職人が、長年培ってきた技能を活かして、老舗ホテル等で長く愛用されてきた椅子・ソファを修理している取り組みです。



〔評価点〕
捨てられてしまう椅子を新品同様に生まれ変わらせていることに加え、職人の技術伝承と若手の職業訓練を同時に実現している点を評価。全国の協力会社とのネットワーク構築や海外への職人派遣による今後の市場拡大も期待。



〔金賞・銀賞・銅賞〕

賞位	製品・サービス名	受賞者	概要
金賞（製品）	能登牡蠣コンフィ	能登鹿北商工会 青年部（七尾市）	牡蠣の生育環境のために、中島地区で植林や里山保全等の活動を行うとともに、牡蠣を瓶詰め保存食とすることで、年間通して美味しい牡蠣を味わえるようにしたもの
金賞（サービス）	うるしろうそく	（株）高澤商店（七尾市）	輪島産の漆の実から搾り取ったロウだけを使用した「うるしろうそく」の販売を通じて、漆の植林・保全活動を応援し、能登の漆文化を引き継いでいこうとする取り組み
銀賞（製品）	竹葉 能登牛純米	数馬酒造（株）（能登町）	能登の清酒製造業・畜産業・米農家が連携して、互いの副産物を資源循環させて造った日本酒
銀賞（サービス）	能登うなぎ（養殖場所：志賀町）	（有）ティ・エス・ピー（金沢市）	環境に配慮した養殖方法で育てたウナギを活用し、能登の新しい特産品にしていこうとする取り組み
銅賞（製品）	紙ストロー「Choose」	（株）ホクビ（野々市市）	絵柄デザインの自由度が高く、耐久性にも優れた高機能紙ストロー
銅賞（サービス）	超小型電気自動車レンタルサービス「温（ぬく）モビ」	かが EV 推進協議会（加賀市）	加賀温泉郷で、観光客等にコンパクトなエコカーを貸し出し、新しいドライブの形を提案する先進的な取り組み

〔その他の特別賞〕

賞位	製品・サービス名	受賞者	概要
低炭素賞（製品）	地場産材活用型金融店舗（設置場所：加賀市）	（株）高屋設計環境デザインルーム（金沢市）	県産材 CLT を採用し、断熱性能や省エネ性能が高い設備を取り入れた環境配慮型の建築物
低炭素賞（サービス）	焼却排熱を利用した地域との交流	環境開発（株）（金沢市）	耕作放棄地を再生利用したハウスにおいて、廃棄物焼却炉からの排熱エネルギーをトマト栽培に有効活用した取り組み
里山里海賞（製品）	白山ゲビンデ	アロマの里@獅子吼（白山市）	白山麓の棚田で栽培したラベンダーやコキア、木の実を使った装飾グッズ
里山里海賞（サービス）	“揚げ浜塩”主軸のエコデザイン（実施場所：珠洲市）	（株）Ante（加賀市）	里山資源（間伐材）や里海資源（塩田）を活用した塩づくりを中心に、塩サイダー等の商品開発、塩カフェ経営による誘客等の取り組み
資源循環賞（製品）	こども園の給食からうまれた無添加食品「のとり」	（株）ミナトフーズ（七尾市）	これまで廃棄していたダシ殻（昆布・かつお節）と地元の規格外野菜を再利用した「ふりかけ」
パブリシティ賞（製品）	FITTO アクティブ バッグ	（株）緑 Eternity（金沢市）	副資材であったゴム素材を有効活用した、軽くて伸びる多機能バッグ
パブリシティ賞（サービス）	サスティナブルコーヒーから広がるエコアクション	キャラバンサライ（株）（金沢市）	自然環境や労働者就労に配慮したコーヒー農園を独自基準で支援することにより持続可能な社会づくりに貢献しようとする取り組み
フューチャー賞（サービス）	SMT (Smart Management Technology) クラウドサービス	三谷産業（株）（金沢市）	AI やクラウドを活用した空調制御により、大幅な省エネと省人化を実現したサービス

いしかわエコデザイン賞とは

「いしかわエコデザイン賞」は、低炭素（地球温暖化防止）、里山里海保全などの自然共生、資源循環（3R）など、環境保全に役立つ石川発の優れた「製品（モノづくり）」「サービス（コトおこし）」を表彰する県の制度です。

この賞における「デザイン」には、姿・形（意匠・装飾）だけでなく、製品やサービスを生み出すコンセプトや姿勢（戦略・企画・設計）のことも幅広く含んでいます。

「いしかわエコデザイン賞 2019」受賞製品・サービス

今回、第9回目の開催となりました「いしかわエコデザイン賞2019」は、16件が受賞となり、昨年11月に石川県庁で表彰式を行いました。製品領域の大賞には、「スーパーミニモグ穿孔機」（株式会社北菱）が

選定されました。この製品は、地上からの遠隔操作で下水道管内の維持・補修を行う作業ロボットです。メンテナンス性の高い環境配慮型の設計に加え、小型・軽量化を可能とした高い技術力や、インフラ老朽化が深刻な海外にも対応できる点が評価されました。

サービス領域の大賞には、「椅子再生工場の挑戦」（株式会社エフラボ）が選定されました。このサービスは、古くから建具・繊維業が盛んな中能登地域で、長く愛用されてきた椅子・ソファを熟練の職人が修理



いしかわエコデザイン賞ロゴマーク

いしかわエコデザイン賞2019

文・写真◎石川県生活環境部温暖化・里山対策室

する取り組みです。椅子の再生のみならず職人の技術伝承と若手の職業訓練を同時に実現している点が評価されました。

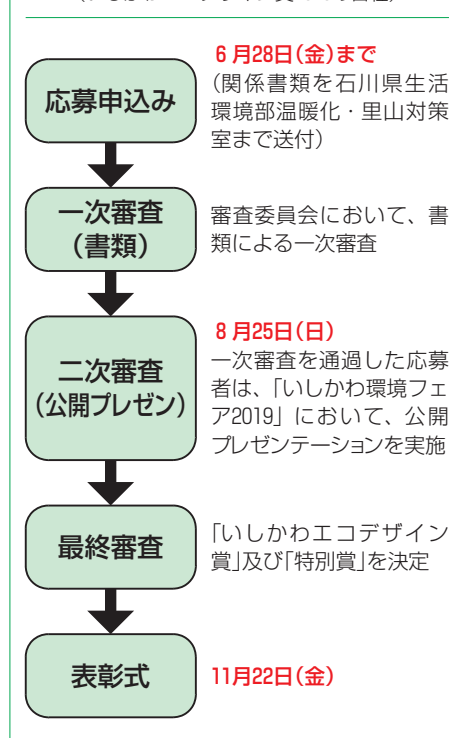
いしかわエコデザイン賞受賞製品・サービスの普及支援

いしかわエコデザイン賞を受賞した製品・サービスが普及することは、環境ビジネスの振興やエコな取り組みによる地域の活性化につながることから、県では、受賞製品・サービスの普及に、次のような支援を行っています。

- ① 製品、パンフレット等へのロゴマークの使用
 - ② 製品・サービスの紹介パンフレットの作成、配布
 - ③ 県ホームページや動画配信サイトでのPR
 - ④ グッドデザイン賞の応募支援
 - ⑤ プロモーション映像の制作
- 今後も、本賞を通じて、環境保全に役立つ石川発の優れた製品、サービスの普及に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

受賞までの流れ

（いしかわエコデザイン賞2019の日程）



※2020年度も同様のスケジュールを予定しており、6月30日（火）まで申込みを受け付けています。

生物文化多様性でまちづくり ードイツ・ブライトナウ村ー

文・写真◎金沢星稜大学経済学部 教授 新 広昭

今回の研修では、フライブルク市がどのようにしてSDGs（持続可能な開発目標）を政策の中に取り込んでいるかといった点を中心に調査を行いました。一方、合わせて地域の生態系の恵みとその生態系と人のかかわりの中で産み出された文化を地域資源としてまちづくりを進めているブライトナウ村にも視察に行ったので、その概要をレポートします。

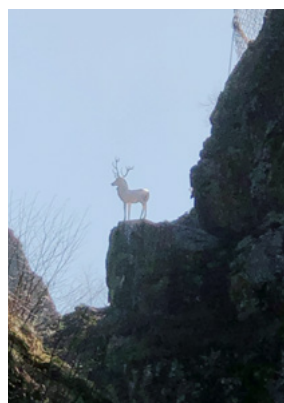
ブライトナウ村はフライブルク市に近接した位置にあり、経済的にも社会的にもフライブルク市との関係が深い村です。前田成子さんのコーディネートで村長のヨゼフ・ハーバーストロー（Josef Habersroh）氏に案内をいただき、村内のさまざまな施設（村役場、ジビエレストラン、農家民宿、バイオマスエネルギー供給施設など）を視察しました。

シカの跳躍の伝説とシカの像

村長の説明によると、同村は狩猟文化の村であるということでした。村の自然環境、食文化、歴史、音楽、アートは、それぞれが狩猟にまつわるものであり、全体として狩猟文化景観ともいえるべき景観を形成していました。そのことを象徴する「シカの跳躍の伝説」を村長さんに話していただきました。

シカの跳躍の伝説

ファルケンシュタイン城のある騎士がヘレンタール（地獄谷）へと狩りに行った。すると、彼は見事なシカを目にし、その足跡を追った。シカは死の恐怖に駆られ、峡谷を越えて大きくジャンプすることで追っ手を逃れた。



シカのモニュメント

これは、ブライトナウ村に伝わる有名な伝説であり、村の狩猟文化の根幹をなすものであるとのことでした。ここには、野生生物の狩猟で生活の糧を得ながらも、一方で野生生物に対する敬愛や一種の畏敬の念を感じました。

村の入口近くの渓谷には、この伝説をもとにした銅製のシカの像が設置されていて、ツーリストにブライトナウ村に着いたというメッセージを与える機能を果たしています。

また、このシンボル像をモチーフにした絵画を制作する画家がいて、

トやイベントなどで演奏されています。生業としての狩猟が文化として残ったブライトナウ村の、狩猟文化景観を構成する重要な要素となっています。

食文化と農家民宿

村には伝統的な食文化としてシカ肉を使った料理の提供を中心としたジビエレストランがあり、連日村外からの客が集まっています。また、料理をサードする女性は村の伝統的な衣装を身に着けていて、伝統的な村の文化を意識させる効果を与えています。



ジビエレストラン

こういった狩猟文化をベースにした食文化、アート、音楽が一体になったものとしてブライトナウ村の文化的景観が形成され、それを求めて村内にある22か所の農家民宿にツー



シカ料理

リストが集まっています。農家民宿の名称は「農家での休暇（Ferien auf dem Bauernhof）」となっています。

バイオマスエネルギー

また、ブライトナウ村は近年、新たな森林活用の形としてバイオマスエネルギーを利用したエネルギー自給のまちづくりでも有名になっていて、世界中から視察ツアーが相次いでいます。

村内に「ブライトナウエネルギー組合」を設立し、村内の森林から供給されるウッドチップ等のバイオマスを熱供給及びコジェネ発電に利用する施設を導入し、村内の事業所や家庭に供給しています。さらに各農家の屋根にソーラーパネルを設置し、エネルギー自立を図っています。



バイオマスエネルギー供給施設

このことにより、農家民宿やバイオマスエネルギー視察ツアーで稼いだ「外資」を地域で循環させ、地域外への流出を防ぐことにより住民の雇用を確保するという経済の好循環を生んでいます。

ブライトナウ村において、こういった経済の好循環が生まれている大きな要因はハーバーストロー村長の政策立案・実行力によるところが大きいと感じました。村長は、元ブライブルグ市の森林官でしたが、村民に請われて立候補し村長になったということです。

フライブルク市やブライトナウ村などドイツにおいて森林をベースにした産業（林業、狩猟、ツーリズムなど）が地域経済の基盤をなす地域において、森林官は森林の管理や利活用の政策決定に大きな権限を持ち、社会的地位も極めて高いとのことでした。それは、森林官が持つ高度な専門性が背景にあることを強く感じ、地域経営における専門家の重要性を

村役場の中にもその作品が多数展示されていました。こういった作品は、狩猟文化の村というストーリー性をアート作品によって意識させる機能を果たしています。

狩猟のホルン（角笛）

写真は村長が狩猟の際の合図に使うホルンを実演して見せてくれている様子です。この角笛は狩猟の開始、途中のさまざまな指示、終了の合図ばかりでなく、獲物が獲れた時には種類（シカ、イノシシなど）ごとに異なるメロディーで知らせるといった機能を持っていました。



ホルンの実演

また、獲れた獲物を右側を下にして並べ、猟師がホルンを持って獲物の後ろに立ち、動物ごとに異なるメロディーの音楽を演奏するという文化（風習）があったとのことでした。このホルンは中世に使用されていたもので、今はクラシックコンサート

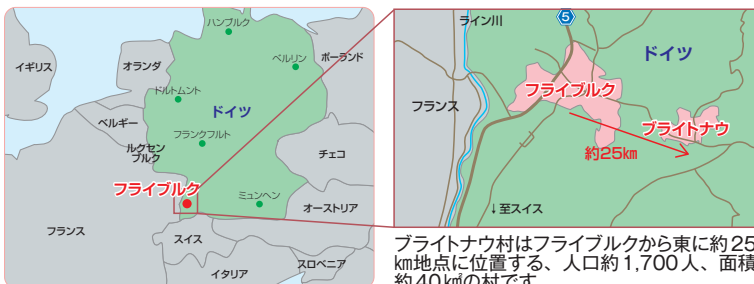
よく示す好事例といえます。

やがて

ブライトナウ村の事例は、石川県でも取り組みが本格化している、生物文化多様性保全政策としての里山里海保全政策のひとつのモデルとして示唆に富んだものでした。石川県・石川県民が取り組んでいる里山里海保全政策との情報交換によって、今後の交流の活発化の可能性を感じました。

ドイツ・フライブルク

フライブルクは、南ドイツのバーデン＝ヴュルテンベルク州の南西に位置します。積極的な環境保全に向けた取り組みが評価されている「環境首都」です。石川県では、1999年からフライブルクとの環境交流を進めています。



ブライトナウ村はフライブルクから東に約25km地点に位置する。人口約1,700人、面積約40km²の村です。

県民エコステーションからのご案内

県民エコステーションについて

県民エコステーションは、21世紀のいしかわの環境を支える活動・交流・情報の拠点です。

県民エコステーションでは、

- ・エコクッキングや土曜環境サロンなど、参加・体験型の学習講座を開催しています。
 - ・環境保全のための講演会等に講師を派遣しています。
 - ・環境に関する図書等の閲覧や貸出を行っています。
 - ・いしかわ自然学校の事務局として、本県の豊かな自然をフィールドとした自然体験プログラムを紹介しています。
 - ・指定管理者として夕日寺健民自然園の管理を行っています。
- 里山の恵みを受け、楽しみながら理解を深められるさまざまな活動を実施しています。

環境について、知りたい、学びたい、そして活動したい人をサポートします。

詳しくは **県民エコステーション** **検索**



公式ホームページをリニューアル！

2020年3月、公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議のホームページをリニューアルしました。

新しいホームページでは知りたい情報に簡単にアクセスできるよう、メニューをシンプルなものに見直しました。

またスマートフォンでも見やすいレイアウトでご覧になれます。

<https://www.eco-partner.net/>



レジ袋有料化に伴う寄付について

県民会議では、レジ袋有料化に伴う収益金のご寄付をいただいております。

各事業者の皆さまには、ご寄付をいただきありがとうございます。

いただいたご寄付により、地球温暖化対策をはじめ環境保全に係る事業を県民、民間団体、事業者、行政等と協働・連携して実施していきたいと考えておりますので、引き続きご理解・ご協力をお願いいたします。

ご寄付をいただいた事業者の皆さん(12事業者)
(株)安達、アルビス(株)、イオンリテール(株)北陸・信越カンパニー、(株)大阪屋ショップ、(株)鍛冶商店、金沢大学生協同組合、生活協同組合コープいしかわ、ダイヤモンド商事(株)、(株)ニュー三久、マックスバリュ北陸(株)、(株)松本日光舎、(株)マルエー (50音順)

レジ袋削減協定参加事業者一覧
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/reji_bukuro/

いしかわの自然と環境 エコナビ Eco Navigation

エコナビは(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議が発行する石川の自然と環境の情報誌です。

「みんなでつくるいしかわの環境」の特集はいかがでしたか？

ぜひ皆様のご意見・ご感想を下記の県民エコステーションへお寄せください。

エコナビ
第19号 2020年3月31日発行

発行 公益社団法人 いしかわ環境パートナーシップ県民会議
〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地
(いしかわエコハウス内) 県民エコステーション

監修 石川県生活環境部

編集 エコナビ編集委員会
新 広昭 (編集委員長・金沢星稜大学 経済学部学部長・教授)
北谷俊彦 (公益財団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議会長)
中里 茂 (環境カウンセラー)
若井 憲 (編集者)
小泉義樹 (石川県生活環境部温暖化・里山対策室 企画推進グループリーダー)
河原圭吾 (石川県生活環境部自然環境課 自然共生グループリーダー)

協賛 北陸環境共生会議

表紙 ほんだじより

制作・印刷 株式会社橋本確文堂

- 本誌記載の記事・写真などの無断転載を禁じます。
- 本誌記載の記事、エコナビについては県民エコステーションへお問い合わせください。

編集後記

令和になって初の出版となり、今号から本格的にSDGsを特集していきます。SDGsは「誰一人取り残さない」という考えのもと、環境問題や貧困・飢餓問題をはじめ、世界が抱える共通課題を解決する上での「共通言語」としての特徴を持ち合わせています。マスコミでも最近多く取り上げられていますが、民間の調査によると本県での認知度はまだ24%弱とのことなので、分かりやすいものにしていきたいと考えております。

2020年はパリ協定に基づく地球温暖化対策の始動の年です。改めてすべての県民が「地球規模で考え足元から行動する」ことの大切さと、そのためのパートナーシップを構築していくという本県民会議の重要性を再認識し、環境問題に積極的に取り組んでいく所存です。

(北谷俊彦)

COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)の外出自粛が続く中、体力維持のためにウォーキングしていると近くの公園の中にちよっとしたバラ園を見つけました。入ってみると、赤、黄、白の見事なバラが咲いていました。そのバラを眺めているうちに、COVID-19が人間社会や経済活動に大混乱を招いていても、自然は何事もないかのように季節ごとの営みを続けていることに感動してしまいました。

しかし、この自然の営みも今、人間活動による気候変動によって大きく変化せざるを得ない状況に置かれていることに思いが至ると、本号の特集のようにいしかわの環境を皆のパートナーシップによって守っていくことの大切さを改めて実感しました。

(新 広昭)

会員募集中！

県民会議の活動の趣旨に賛同いただき、支援していただける団体賛助会員・個人会員を募集しています。

◆年度会員／団体 (一口) 2万円・個人 (一口) 2千円

会員になると、機関誌 E-GAIA・エコナビの配布、研修室の無料貸出、各種行事の案内、環境関連情報の提供などがあります。

※このほか、時期を定めて開催する講習会や助成制度の申込み等については、ホームページやメールマガジンなどで随時ご案内いたします。

県民エコステーション

(公益社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議)

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 (いしかわエコハウス内)

TEL.076(266)0881 FAX.076(266)0882

URL: <https://www.eco-partner.net/> e-mail: info@eco-partner.net

開館時間: 午前9時～午後7時 (ただし、日曜日は午後5時まで)

休館日: 月曜・祝日・年末年始

『エコナビ』に参加しませんか？

『いしかわの自然と環境 エコナビ』では、読者の皆様からの「意見や」ご感想を募集しています。また、身の回りの環境や自然について、日頃感じていることや取り組んでいることなどについてもおたよりをぜひお寄せください。

左記の県民エコステーションへハガキや手紙、ファックス、電子メールでお送りください。お待ちしております。

※頂戴したご意見等は『エコナビ』誌面に掲載させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。